

UTEC

Co-Founders for Innovation



Science/Technologyを軸に、資本・人材・英知を還流させ、
世界・人類の課題を解決するためのフロンティアを開拓する

*We pioneer frontiers to solve global issues of humankind, by bringing capital,
talent and knowledge, around science and technology*

郷治 友孝

Tomotaka Gōjō

ASAMI&KAWAHARA
LABORATORY

優れた Science/Technology

- 軸となる東京大学に加え、全国の大学、研究機関、企業、政府と連携し、インパクトのある技術をソーシング
- 必要に応じて組織を超えてテクノロジーをロールアップ

強力なチーム

- テクノロジーを活かした事業を強力に推進できるプロフェッショナルマネジメントを重視
- 製品開発・オペレーション・管理面においても強力なチームを構築

グローバルな 市場や課題

- 設立当初からグローバル市場を視野
- 全人类的な課題の解決を志向

主な実績



2009年3月
JASDAQ NEO 上場



2011年7月
東証マザーズ上場



2013年6月 東証マザーズ上場
2015年12月 東証一部上場



2017年9月
香港上場 O Luxe HD
と資本提携



2010年8月
ヤフー株式会社がM&A



2011年9月
株式会社ミクシィがM&A



2013年2月
Google, Inc がM&A



2015年5月
バイドゥ株式会社がM&A

UTECについて

2004年以来、総額で543億円規模の4つのファンドを組成

- ▶創 業 2004年4月1日
- ▶運営会社 株式会社東京大学エッジキャピタル／株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
- ▶運営する投資事業有限責任組合（ベンチャーキャピタルファンド）

UTEC 4号投資事業有限責任組合

設 立2018年1月17日
無限責任組合員(GP)UTEC、UTEC Partners有限責任事業組合
規 模約242.5億円
投資先18件 (保有中18件)

UTEC 3号投資事業有限責任組合

設 立2013年10月15日
無限責任組合員(GP)UTEC、UTEC 3 Partners有限責任事業組合
規 模約145.7億円
投資先31件 (保有中25件、M&A 1件)

UTEC 2号投資事業有限責任組合

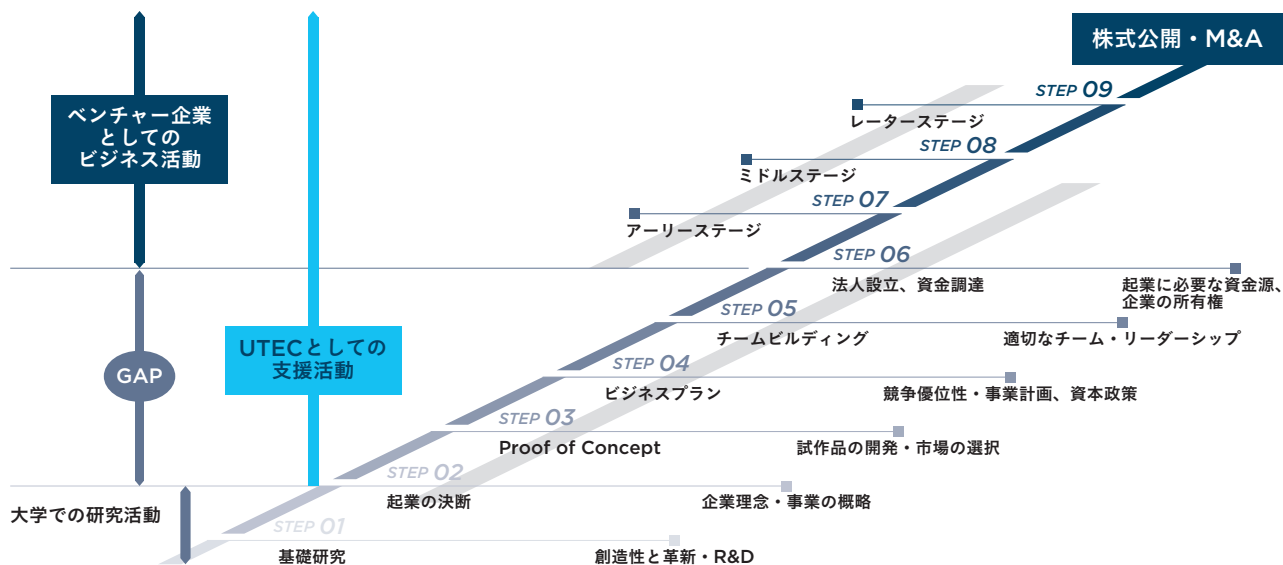
設 立2009年7月31日
無限責任組合員(GP)UTEC、UTEC Venture Partners株式会社
規 模約71.5億円
投資先13社 (保有中8件、M&A 1件)

ユーテック一号エグジット投資事業有限責任組合

設 立2004年7月1日
無限責任組合員(GP)UTEC
規 模約83億円
投資先34社 (保有中2件、上場9件、M&A 8件)

支援プログラム

UTECの投資・支援



シード・アーリー期からの支援プログラムと支援事例

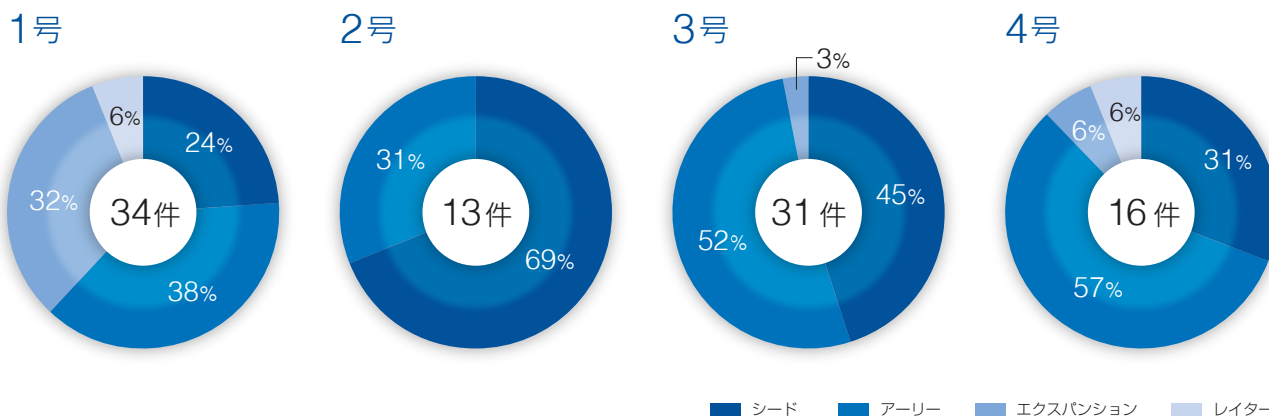
研究	▶ 文部科学省 大学発新産業創出拠点プロジェクト (START)	・デジタルグリッド技術の電力識別に基づく電力流通サービス事業 (東京大学) ・無線アクセスポイント仮想化による情報通信サービスの高度化 (東京大学) ・非侵襲型診断医療に向けた半導体バイオセンシングの実用開発研究 (東京大学) ・知能ロボットソフトウェアの産業展開によるオープンイノベーション拠点の創出 (東京大学) ・抗CD4抗体投与による骨髄移植に伴う副作用 (GVHD) の軽減と抗腫瘍効果 (GVL/T) の促進をねらった治療 (東京大学) ・半月板型インプラント様細胞構造体を用いたあたらしい再生医療事業の創出 (佐賀大学) ・Collective Osmotic Shock 法を用いた新規メンブレンフィルターの実用開発研究 (京都大学) ・クロレラによる複数色のカロテノイドと長鎖不飽和脂肪酸の大量生産 (東京大学) ・障害者のモビリティを高める高性能義足の開発 (東京大学) ・質量顕微鏡法を用いた新しい薬物動態解析及び創薬標的探索事業 (浜松医科大学) ・超小型衛星用の水を推進剤とした統合推進システム (東京大学)
事業構想	▶ UTEC Venture Partner Program ▶ NEDO (新エネルギー・産業技術総合開発機構) Technology Commercialization Program	・障害者のモビリティを高める高性能義足の開発 (東京大学) ・株式会社 PROVIGATE (p.12 参照) ・Institution for a Global Society 株式会社 (p.14 参照) ・株式会社自律制御システム研究所 (ACSL) (p.16 参照) ・非侵襲涙糖値測定器の製造および販売事業 (株式会社 PROVIGATE) (p.12 参照) ・シームレスな細胞内応答解析技術と評価システムの開発 (ソシウム株式会社) (p.10 参照)
創業	▶ UTEC EIR (Entrepreneurs In Residence) プログラム ▶ 経済産業省 新事業創出のための目利き・支援人材育成等事業 ▶ 総務省 I-Challenge! (ICTイノベーション創出チャレンジプログラム) ▶ NEDO 研究開発型ベンチャー支援事業/シード期の研究開発型ベンチャーに対する事業化支援	・popIn 株式会社 ・NExT-e Solutions 株式会社 (p.24 参照) ・株式会社メディア・イノベーション ・株式会社 FLOSFIA (p.24 参照) ・WASSHA 株式会社 (p.20 参照) ・株式会社 Liquid (p.19 参照) ・株式会社 PROVIGATE (p.12 参照) ・ソシウム株式会社 (p.10 参照) ・WASSHA 株式会社 (p.20 参照) ・C1X Inc. ・株式会社 アイデミー (p.14 参照)

シード・アーリーをメインとした 総合的なサポート

UTECの投資対象は、会社設立前のシードを含むアーリー段階

初回投資時のフェーズ※1,※2

件数ベース／％



※1 フェーズの定義については、2017 National Venture Capital Association Yearbookを基準としている

※2 2018年11月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント（FoF出資は除く）

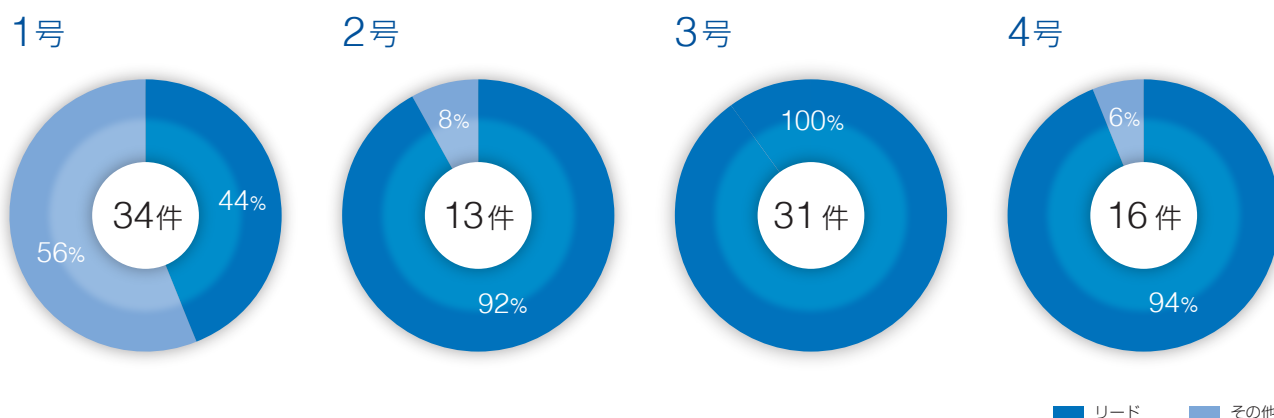
強いコミットメント

リード投資家として、投資先の経営・ファイナンス面を支える

※ほとんどの投資先に対して、リード投資家として取締役や監査役を派遣し、積極的にバリューアップ・経営支援

リードポジションの割合※1,※2

件数ベース／％



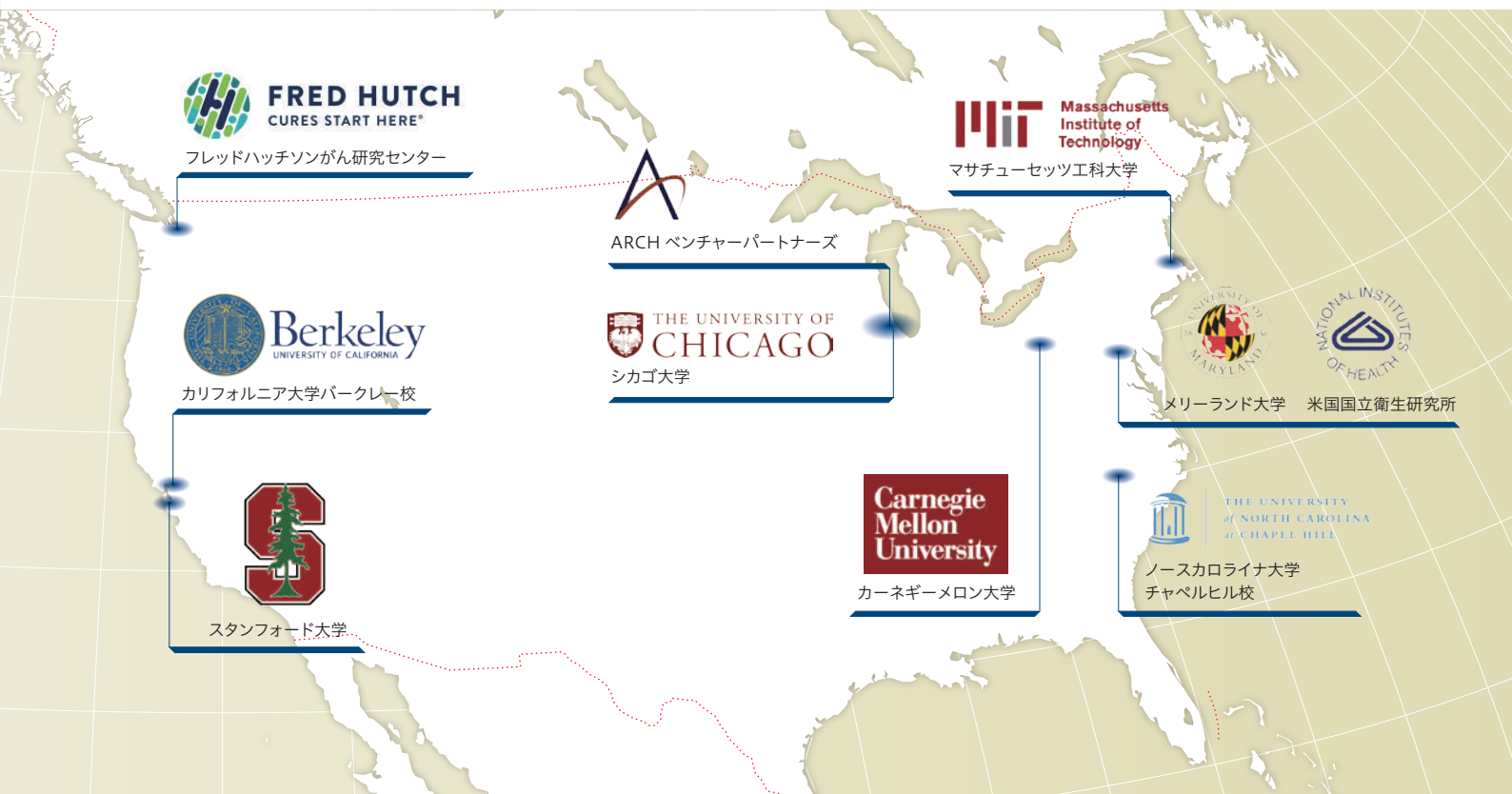
※1 過去のファイナンスにおいてリードポジションを取ったことがある、取っている件数の割合

※2 2018年11月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント（FoF出資は除く）

連携体制

国内外の大学、研究機関、企業等との連携

UTECHは、東京大学はじめ、日本全国の大学・研究機関・企業、
ひいては海外の大学発の研究成果や技術からのイノベーションの実現に取り組んでいます。



大学へのスポンサーシップ

UTEC は、2017年より東京大学の10の部局との間で19のプロジェクトのスポンサーシップを開始し、研究者や学生へのサポートを強化。今後とも、ベンチャーキャピタル事業の成果をもとに、大学、研究機関へのサポートを拡充してまいります。

東京大学大学院 法学政治学研究科

法・政治分野における先端的科学技術の活用と分野融合研究

- 先端融合分野研究支援センターにおける文理融合プロジェクトで採用した理科系助教の研究活動費支援

東京大学大学院 工学系研究科

リーダー博士人材育成基金

- 最先端研究をリードする研究者育成とイノベーション創出を目指した本格的な産学官連携(国際連携、コンソーシアム研究創出等を含む)の推進を行い、わが国の研究開発基盤の強化
- H28年度は6名に奨学金と研究費を付与

東京大学大学院 工学系研究科

社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム(GSDM)の人材育成および研究基盤強化

- グローバル社会を牽引するトップリーダーを養成する文理統合型の学位プログラム
- システム等コア機能の整備を支援

東京大学大学院 経済学研究科

金融教育研究センター助成金

- 金融教育研究センター(CARF)における、Fintechが経済社会に及ぼす影響や新たに必要になる経済制度(規制など)の研究活動支援
- CARFにおいて投資先企業の登壇等の連携を推進

東京大学大学院 新領域創成科学研究科

新領域創成科学研究教育振興基金

- 若手研究者の研究室立ち上げなど、大学院学生、若手教員のための教育及び研究活動を支援

東京大学 生産技術研究所 / 先端科学技術研究センター

駒場リサーチキャンパス・若手海外自由展開・研鑽支援プログラム

- 駒場リサーチキャンパスにおいて研究される全分野の若手研究者を対象。海外研究機関における研究者との出会いの機会を持つなど、幅広く自らの能力・可能性を自由に開拓すべく、滞在費・渡航費等の経済的支援

東京大学大学院 医学系研究科

ライフイノベーション・リーディングプログラム

- グローバルな先端医療開発システムの構築に向けて医・工・薬・理学系が協働し、部局横断型学位プログラム(GPLLI)を立ち上げ、国際的リーダー候補人材を育成
- GPLLIとその後継プログラムの活動支援

東京大学大学院 工学系研究科

自分で守る健康社会 COI 拠点：医療技術評価実験室関連寄附金

- 産官学民の全てのステークホルダーが研究開発初期から対等に参加するオープンイノベーションプラットフォームの形成促進
- 活動拠点である分子ライフイノベーション棟における模擬手術室の運営支援

東京大学大学院 理学系研究科

理学若手未来基金

- 若手研究者の海外連携等支援

東京大学大学院 薬学系研究科

薬学若手研究支援

- 科研費では手当てできない若手研究者の研究室立上げなど、大学院学生、若手教員のための教育及び研究推進を支援
- GPLLIにおいて講師やメンターの派遣

東京大学大学院 情報理工学系研究科

情報理工学系研究基盤整備プロジェクト

- 研究基盤整備(ネットワーク、クラウド等)や大学院生学費支援等
- リサーチアシスタントの採用

東京大学 本部・研究推進部

東京大学卓越研究員支援

- 東京大学が独自に選抜する「卓越研究員」に対して、海外派遣等の活動経費を支援

東京大学 医学部付属病院

学術研究助成 トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR 機構)

- 東京大学の医療関連領域の研究成果を実用化へと導き医療全般への貢献を促進するための活動支援

東京大学大学院 工学系研究科

Deep Learning 人材育成基金

- AI、ウェブ、ビジネスモデルの研究を軸に、本格研究から社会実装まで一気通貫で行う松尾研究室の活動を支援
- FinTech 集中講義及びブロックチェーン技術の改良・実証実験を支援

東京大学大学院 農学生命科学系研究科

農学創発基金(若手研究者支援事業)

- 外部資金や学内予算で手当てしにくい大学院生の海外短期留学や大学院生・若手教員等の分野横断的共同研究を支援し、若手研究者の視野を広げるとともに、農業分野の新たな展開を推進することを目的として運用

東京大学大学院 新領域創成科学研究科

新領域研究助成金 (河野重行東京大学名誉教授)

- コロナによる複数色のカロテノイドと長鎖不飽和脂肪酸の大量生産プロジェクト
- 文科省/JST START 事業での UTEC 支援先である河野教授退官後の研究室機能維持を支援

東京大学 医科学研究所

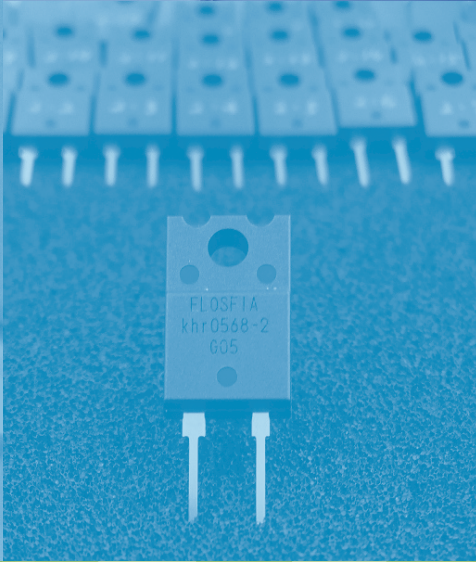
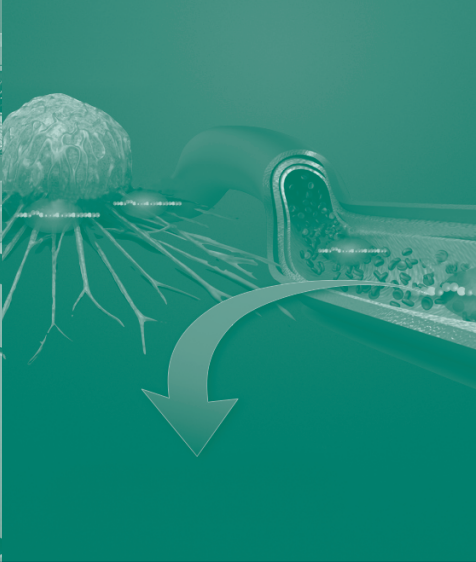
若手研究者育成プロジェクト

- 若手研究者の研究室立上げなど、大学院学生、若手教員のための教育及び研究活動助成金

東京大学 本部・学生支援部

スポーツ振興基金 運動部器具備品基金

- 通常の学内予算で手当てできていない各運動部の用具備品の購入を支援
- 50 近いほぼ全ての運動部のニーズに対応(水泳部のスタート台、硬式野球部のアームマシン、女子サッカー一部のゴール等)



UTEC Portfolio Companies

投資先企業

■ Life Science & Healthcarep8-13

immunoSCAPE PTE. LTD.
エディットフォース株式会社
株式会社 Epigeneron
Elixigen Therapeutics, Inc.
クオントムバイオシステムズ株式会社
株式会社クリュートメディカルシステムズ
五稜化薬株式会社
ソシウム株式会社
タグシクス・バイオ株式会社
株式会社糖鎖工学研究所
TRICOG HEALTH PTE.LTD.
Nohla Therapeutics Inc.
BUGWORKS RESEARCH, INC.
ファーマバイオ株式会社
株式会社 PROVIGATE
株式会社ミルテル
株式会社 MOLCURE
Repertoire Genesis 株式会社

■ ITp14-20

株式会社アイデミー
Institution for a Global Society 株式会社
AI inside 株式会社
Evie.ai (Forty Two Labs Private Ltd.)
株式会社お金のデザイン
株式会社 CambrianRobotics
シーオス株式会社
株式会社自律制御システム研究所 (ACSL)
スタートバーン株式会社
株式会社 Zenmu Tech
株式会社ティアフォー
株式会社日本データサイエンス研究所
ファッションポケット株式会社
株式会社 Finatext
Fyusion, Inc.
フレセツツ株式会社
株式会社 MUJIN
株式会社 Liquid
株式会社レトリバ
Locix Inc.
WASSHA 株式会社

■ Physical Science & Engineeringp22-25

アドバンスト・ソフトマテリアルズ株式会社
株式会社アルガルバイオ
エクセルギー・パワー・システムズ株式会社
FCO Power 株式会社
Green Earth Institute 株式会社
908 Devices Inc
NExT-e Solutions 株式会社
株式会社 FLOSFIA
ベジタリア株式会社
マイクロ波化学株式会社
株式会社ルートレック・ネットワークス

■ Fundp26

Deep30 投資事業有限責任組合
Blume Ventures – Fund III

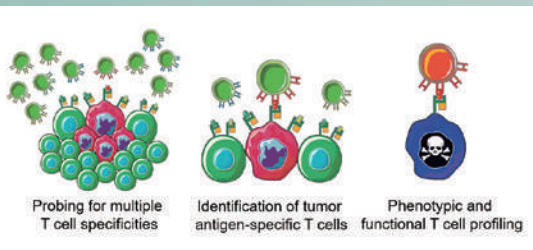
アラムナイp28-29

Teamp30-33

その他役員及びシニアアドバイザーp34

無限の可能性 アップデート

域に改革を起こすことのできる可能性を信じ、基礎研究・若い
との結節点となるベンチャーキャピタルです。



Immunological insights provided by immunoSCAPE



Map of immune response landscape

immunoSCAPE PTE. LTD.

Enabling immunotherapy through high-dimensional immune profiling



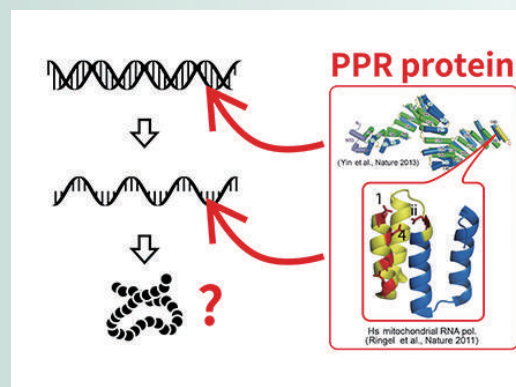
- Q1** A*STAR Singapore Immunology NetworkのEvan Newell博士等らによって開発された免疫プロファイル技術を活用し免疫療法の発展及び治療法の確立に貢献する為に起業
- Q2** マスサイトメーターを用いて免疫プロファイルを解析できる世界唯一の会社。特に抗原特異的T細胞を網羅的に解析することで新規抗原やバイオマーカーを開発し、開発中の免疫療法の有効性・安全性を高める
- Q3** グローバルな事業開発の支援、東京大学をはじめとする日本アカデミアとの連携支援、経営体制・チーム強化

エディットフォース株式会社

日本発のゲノム編集技術を通じて国内外の創薬、農業、物質生産の産業革新に貢献する

E4TH EditForce

- Q1** 海外で先行するZFN、TALEN、CRISPR等のゲノム編集技術に対して、日本発のゲノム編集技術を事業化すべく、九州大学の中村崇裕准教授が発明したPPR技術をコア技術として設立
- Q2** PPR技術はゲノム編集の主流であるDNAのみならず、その下流であるRNAも認識が可能。DNA/RNAの両方が編集可能な世界初のゲノム編集ツールで、ポストゲノム時代の革新的な企業となる
- Q3** 事業計画のブラッシュアップ。経営人材、パートナー等の紹介。IPOなどのエグジティブ体制構築支援



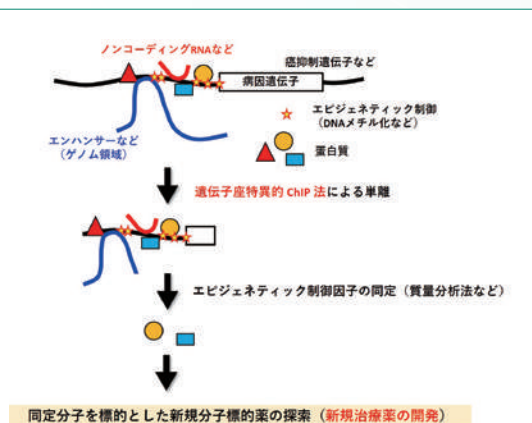
PPRがDNA/RNAに作用する模式図

株式会社 Epigeneron



新薬を開発することにより、全ての人を病の苦しみから解放できる社会の実現

- Q1** 現弘前大学大学院医学研究科教授の藤井穂高氏らによる遺伝子の転写等を制御するエピジェネティック制御因子等を固定する遺伝子座特異的ChIP法の開発によって、ゲノム機能の局所的生化学的解析が可能になり、ゲノム機能の異常に起因する疾患の治療法の開発が格段に容易になったため
- Q2** 遺伝子座特異的ChIP法をはじめとする革新的な技術の開発力。現在ホットな領域ではなく、先々を見据えた展望力や問題の打開力
- Q3** 特許周りの強化や業務支援者の紹介により、事業基盤の整備がなされた。今後は、資金面でのサポートに加えて、ビジネスモデルの構築やその更新に関するアドバイスを期待



遺伝子座特異的ChIP

集合写真

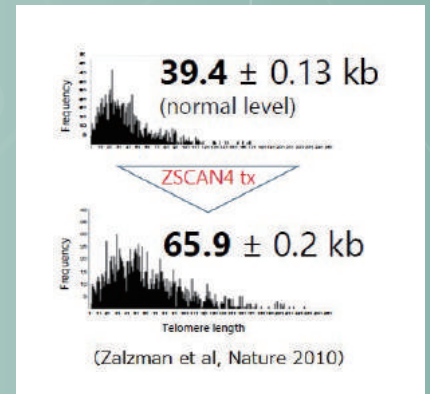


Elixirgen Therapeutics, Inc.

ZSCAN4を用いた細胞治療法による希少疾患の治療を目指す



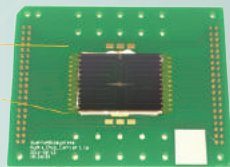
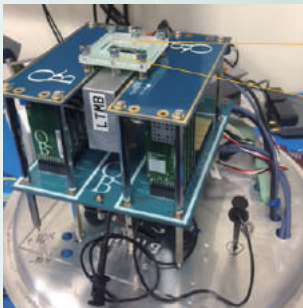
- Q1** 慶應義塾大学洪実教授が米国 NIH 時代に発見した遺伝子 ZSCAN4 の臨床応用
- Q2** ZSCAN4 遺伝子が幹細胞のゲノム安定性を増しテロメアを伸長するという発見に基づく。ZSCAN4 をゲノムを障害しない、より安全な RNA 治療薬の形で造血幹細胞などの細胞に導入する技術を開発。米国 FDA と Pre-IND を終了し、先天性角化不全症を含むテロメア病の早期臨床治験を目指す
- Q3** 臨床治験にむけての加速資金、事業体制構築のサポート、企業・投資家・人材などへのネットワークハブ機能



ZSCAN4によるテロメア伸長の例

クオンタムバイオシステムズ株式会社

革新的 DNA シークエンサーの開発により、遺伝情報を活用した新産業を興していく



シーケンサーのプロトタイプと
半導体チップ

- Q1** 大阪大学、川合知二・谷口正輝両教授の研究成果をもとに、革新的 DNA シークエンサーの開発を行うことを目的として 2013 年 1 月に設立
- Q2** 従来技術に比べて、簡易に、高精度に、低価格で DNA 解析を実施することが可能。また、DNA 修飾情報などの既存技術では取得できない情報を取得することが可能
- Q3** シリーズ A (リードインベスター)、シリーズ B ラウンドでの出資を通じた、資金面でのサポート。外部取締役としての積極的な経営関与、重要な意思決定にあたる貴重な助言

株式会社クリュートメディカルシステムズ

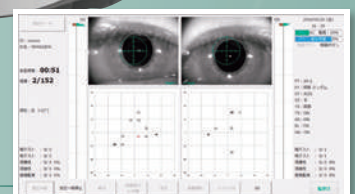
クオリティ・オブ・ビジョンの向上に貢献し、
生涯『しっかり見える』を！



- Q1** 前職の HOYA 株式会社において立案した新規事業企画の起業化チャンスをいただき起業。技術顧問には、東大病院眼科相原教授が就任
- Q2** 光学技術に基づく、モノ(医療機器)づくり
- Q3** 経営参画による企業価値向上、助成金申請など外部への訴求文書や事業計画書のブラッシュアップ、資本政策に関する助言や専門家の紹介など、実務面・メンタル面で支えていただいたことで当初の計画から大きな遅れなく遂行し企業価値を大いに高められた

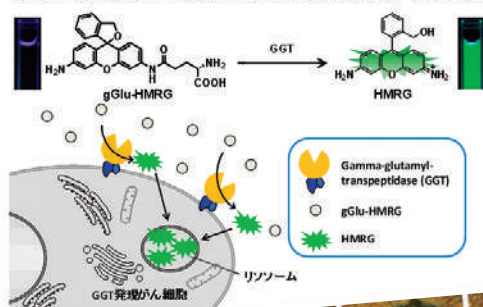


ヘッドマウント型視
野計アイモ



測定画面

GGT活性検出蛍光プローブgGlu-HMRGによるがん細胞イメージング機構



がん検出の反応機構

ヒト食道がんESD摘出検体にEP-HMRGをスプレーする前(左)とスプレーした後5分(中央)、スプレー後10分(右)の色調変化。(がん部位は左写真の点線で示した部位。中央付近の緑に光っている部位がEP-HMRGによる蛍光シグナル。)

五稜化薬株式会社



日本発のがん術中迅速診断のためのナビゲーションドラッグの開発

- Q1** ケミカルバイオロジーを駆使して、創業支援のための研究試薬開発のみならず、蛍光プローブの医療応用を目指し、2010年、北海道大学の知財を活用し札幌にて創業
- Q2** 創業後、東京大学の浦野泰照研究室が開発した蛍光色素や診断薬のプラットフォーム技術を導入することができたこと、並びにそれら色素の効率的な合成能力を自社に保有していること
- Q3** 事業計画の再構築ならびに長期的な成長を見据えた資金調達や人材紹介など包括的なハンズオン

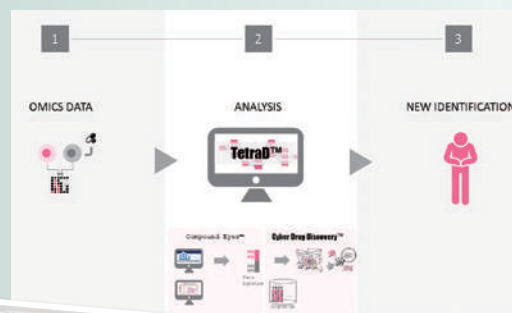
ソシウム株式会社

未だ満たされない治療ニーズに応えることで、人びとの健康に貢献



- Q1** 産業技術総合研究所の堀本勝久が開発した独自の遺伝子発現情報解析アルゴリズムを基に、創業支援プラットフォームの開発・実用化を目指して2017年に創業
- Q2** 従来の解析技術に比べて、生物学的意義に基づく疾患関連遺伝子とそれらが構成するパスウェイを高精度に抽出することで、医薬品の開発成功率を高める
- Q3** シリーズAにおける資金調達とグローバルレベルでの事業提携のサポートやそれを実現する経営人材のリクルーティングサポートに期待

独自のアルゴリズムに基づく解析



複数特許から構成されるサービスフロー

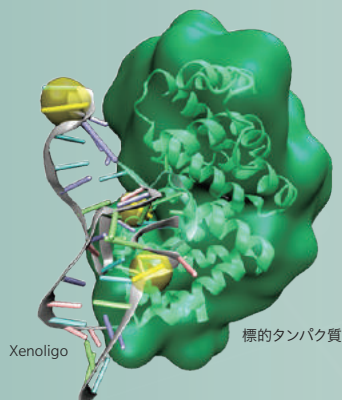


タグシクス・バイオ株式会社



効果が高く安全かつ低コストな核酸医薬品を創出し、医療経済界に改革をもたらす

- Q1** 「人工塩基対技術」の普及と幅広い分野での実用化を目指して、平尾一郎氏等が中心となり、2007年に起業。2016年より、創業開発を主事業として活動開始
- Q2** 独自開発の創業探索技術を用いて、核酸医薬品(Xenologo™)を効率よく創り出すことができる。Xenologo™の標的物質に対する高い親和性と高い選択性、独自開発の安定化技術が強い
- Q3** 世界に向けた日本発のバイオベンチャーとして、大きく成長できるための支援をお願いしたい



疎水性の塩基Dsを含むXenologo™と、標的タンパク質との結合

質問内容

Q1

起業の発端

Q2

何が強みか
(競争優位性)

Q3

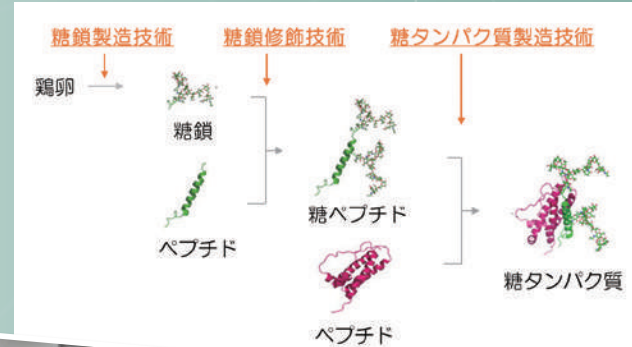
UTECのパリキュアアップ
(貢献)

株式会社糖鎖工学研究所

糖鎖技術を応用するバイオ医薬品のパラダイムシフト

GlyTech, Inc.

- Q1** 前職の大塚化学株式会社における研究開発や大阪大学梶原康宏教授との共同研究の成果に基づき、高純度ヒト型糖鎖の大量調製実用化と糖鎖応用によるバイオ医薬品への機能性付与の実証を行うために創業
- Q2** 糖ペプチド、糖タンパク等のバイオ医薬創業の精密化学合成による創薬スクリーニングシステムと原薬の商業生産
- Q3** 起業時の資金調達と、ライフサイエンスネットワークによる支援



ラボ風景

高品質・低価格な
糖ペプチド・糖タンパク質の生産



AI解析はあくまで医師の診断サポート

TRICOG HEALTH PTE.LTD.



効率的・迅速なAI心電図解析により、新興国における心臓病関連の死亡者を減らす

- Q1** CEO自身がインドにおいて長年循環器の医師。多くの患者が適切な治療を受けるまでに時間がかかっていることに強い危機感を覚えて起業
- Q2** インドにおいて、サービス実質開始から1年強で50万人の医師診断付きのECG診断データを収集。社内に20名程度の専門医を抱えHP-GP、医療機器メーカーと連携したサービスを展開。集めたデータを機械学習により解析。インドだけで1,000程度の医療拠点にサービスを展開
- Q3** ファイナンス面のアドバイスに加え、医療機器メーカーとの協業や、日本の大学病院による共同研究の促進



機器は後付け可能。
医療現場の導線は不変

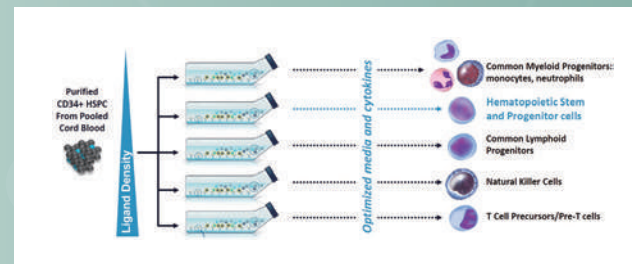
インド全土で展開。
東南アジアに本格進出へ

Nohla Therapeutics Inc.

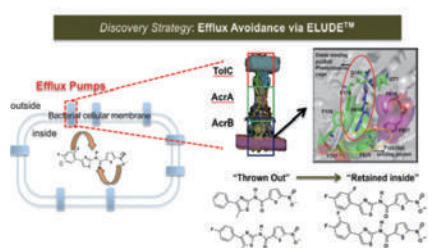
Leading the development of universal, off-the-shelf cellular immunotherapies for patients with hematologic malignancies and other critical diseases.



- Q1** Nohlaは米国Fred Hutchinson Cancer Research CenterのIrv Bernstein医師及びColleen Delaney医師等により20年にわたり研究開発された技術の事業化の為に2015年11月に設立
- Q2** Nohlaの基盤技術により提供者・受容者適合不要なオフザシェルフ細胞療法の確立が可能であり、血液悪性腫瘍等の治療成績を向上させることができる点
- Q3** 日本における産学連携、事業開発及び規制関連業務の支援



独自開発したNotchプラットフォーム技術



Proprietary ELUDE™ platform of Bugworks

BUGWORKS RESEARCH, INC.



現在知られているすべての薬剤耐性菌に効く新規抗生物質の開発

Q1 BugworksはAstraZeneca Indiaに縁をもつチームで創業された。インドのバンガロールに研究室をもち、Biotechnology、Medicinal Chemistry、Microbiology、Pharmaceutical Sciencesの分野でPh.Dを取得した、総計200年超の豊富な経験を有する研究者チームを擁する

- Q2** Efflux Unbinding : Bugworksの開発化合物は細菌外への薬剤排出を回避できる構造をもつため抗菌作用が持続
Dual-target Mechanism : 最も進んでいる開発品はバクテリアのDNA構造に関するGyraseとTypo IVという2つの酵素に同時に作用可能
Broad-spectrum utility : 薬剤耐性菌として知られるすべての細菌 (NDM, KPC, ESBL, MRSA 等) に効力を有する
- Q3** 日本の製薬会社との提携機会の提供とともに、東京工業大学の村上聡教授との協業につきUTECから支援を受けている。多剤排出トランスポーターAcrBの結晶構造を解明した村上教授は、UTECの紹介により当社のScientific advisorに就任いただいた

ファーマバイオ株式会社

国内外の有望なシーズの実用化促進と
効率的な新薬開発の機会創出への寄与



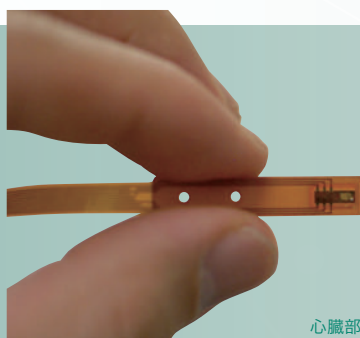
- Q1** 腎不全患者の父を抗癌剤の副作用で亡くした経験と自らの患者が抗癌剤の副作用で亡くした経験というそれぞれ重い経験を持つ二人の医師が、日本でも薬事承認を受けた細胞医薬品を普及させたいとの想いのもと、細胞医薬開発プラットフォーム構築を目的に立ち上げた
- Q2** 日本で最初の再生医療等製品に特化した開発製造受託企業として、リスクやコスト負担の低いGCTP準拠の開発製造サポートと共に、安全と品質を高める様々なサービスと製品をワンストップにて提供
- Q3** 臨床試験プロセスやシーズと結ぶ内外の事業エコシステム環境のネットワーク支援



CPC内での無菌作業



気相式液体窒素凍結保存装置



心臓部のセンサ

GluTear™



自己涙糖測定器

株式会社 PROVIGATE



バイオセンサを通じた知覚拡張社会の実現に挑む

- Q1** 次世代シークエンサーの基礎技術発明などに実績のある東京大学坂田利弥准教授のトランジスタ技術に、モバイル・ウェアラブル・インプラントブルな知覚拡張センサへの応用の可能性を見出し起業
- Q2** 知覚拡張センサの特許技術並びに製造ノウハウ、実検体の取り扱いと非特異吸着・電気ノイズの回避・低減ノウハウ、体外診断薬・医療機器の基礎研究から量産化・薬事・製品上市までをカバーする経験豊富なチーム
- Q3** 文部科学省START事業のプロモーターとしての事業計画や製品開発計画の立案。今後の資金調達及びアライアンス先の開拓に期待

株式会社ミルテル

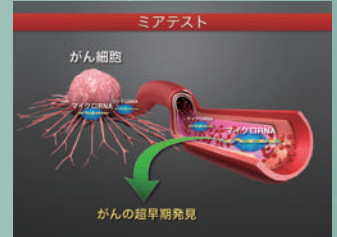
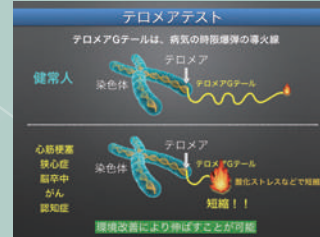
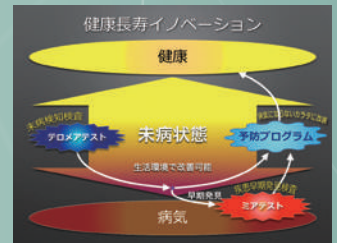


医療イノベーションで「疾患になりにくい社会」を実現し、健康長寿と医療費削減に貢献

Q1 広島大学田原栄俊教授が、一緒に研究した学生を若年性胃がんで亡くし研究の実用化の重要性に気づいたことをきっかけに、自ら開発したGテール長測定技術を未病検知検査へ応用・事業化することを決断。さらにマイクロRNAによる早期発見検査により健康長寿社会に貢献したい

Q2 世界唯一のテロメアGテール長測定技術を用いた「未病検知検査」と独自の疾患特異的な体液中マイクロRNAによる「疾患の早期発見検査」を日本で初めて開始

Q3 資金面・経営面・事業面でのサポート、組織体制の強化、知財管理とライセンス契約交渉のノウハウ



株式会社 MOLCURE



有効な薬が見つからない疾患領域に対し有用な抗体をデザインする

Q1 慶応義塾大学にて科学者としての修行に励んでいた代表取締役社長 小川隆が、がんによる父の他界をきっかけに、問題を直接解決するためには、地球上のすべてのリソースを活用し、新薬創製における最短ルートをキャリアとして選択すべきと考え起業

Q2 抗体を作成するための従来手法に次世代シーケンサーと機械学習を組み合わせ、抗体ライブラリから既存手法では検出できなかった高機能抗体の獲得を可能にした創薬プラットフォームを開発した

Q3 資金提供による事業の加速、技術シナジーの高いコラボレーター及び顧客のご紹介、事業戦略のブラッシュアップなど、多角的なサポートを受けている



独自開発した
抗体作製法: Abtracer

Repertoire Genesis 株式会社

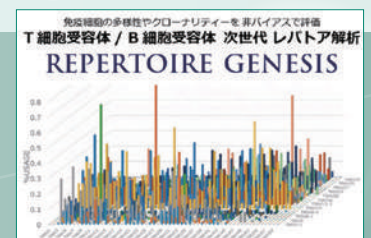
次世代の免疫多様性解析を基盤にし、診断／治療法開発に革新をもたらす



Q1 元塩野義製薬の鈴木隆二氏が開発した非バイアス遺伝子増幅技術の次世代シーケンサーへの応用と専用バイオインフォマティクスソフトウェアの開発によって、免疫細胞受容体(TCR／BCR)における高速高精度な次世代レパトア解析技術が確立されたこと

Q2 免疫の多様性を世界で唯一、抗原と抗体の両側面から正確かつ網羅的に解析できる技術を持っている。生体内で起きている免疫応答を詳細に把握することができるため、免疫系に作用する治療薬および診断薬の開発を飛躍的に効率化することが可能である。東京大学医学部附属病院やカリフォルニア大学サンディエゴ校をはじめとする国内外の多数の研究機関や製薬会社等で解析サービスが利用されており、共同研究等により更なる解析の高精細化にも努めている

Q3 ベンチャー育成のノウハウやネットワークを生かした支援と投資によって、創業が実現できたとともに、創業後の事業化における基盤整備も加速化された



免疫細胞受容体TCR／BCRレパトア解析

完全個別化治療を支えるがん細胞遺伝子変異・抗原探索システム
ネオエピトープ解析
NEOEPITOPE GENESIS

Sample	MT	NT	MT	NT	MT	NT
18	MT	NT	MT	NT	MT	NT
42	MT	NT	MT	NT	MT	NT
27	MT	NT	MT	NT	MT	NT
12	MT	NT	MT	NT	MT	NT
19	MT	NT	MT	NT	MT	NT
43	MT	NT	MT	NT	MT	NT
21	MT	NT	MT	NT	MT	NT
41	MT	NT	MT	NT	MT	NT
36	MT	NT	MT	NT	MT	NT

がん細胞遺伝子変異・抗原探索システム
ネオエピトープ解析



オンラインコンテンツ特有の学びやすさ



環境構築不要の実行環境ですぐに演習開始

株式会社アイデミー

世界100万人規模の人工知能エンジニアの登竜門となる



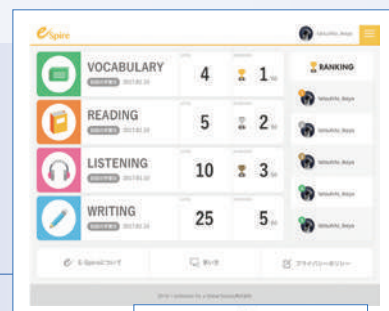
- Q1** 代表の石川聡彦は東京大学工学部在籍時に機械学習の応用分野を研究。人工知能プログラミングに取り組む敷居の高さを感じ、この分野の習得のハードルを少しでも下げるために「Aidemy」のサービス開発に取り組む
- Q2** クラウドサービスを利用した仮想環境、人工知能プログラミングを学びやすくするためのコンテンツを保有。受講者の学習ログをベースにサポート体制の自動化に取り組む
- Q3** UTEC EIR ルームでのサポートを頂いた。今後は、シリーズA以降の調達に向けた経営戦略策定サポート及び、サービスの英語圏展開に向けたパートナーのご紹介などに期待

Institution for a Global Society 株式会社

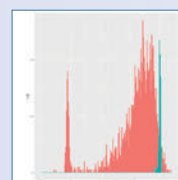
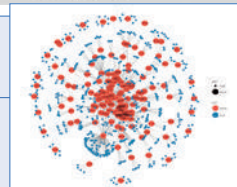
世界で共創・競争できる企業と人材を増やし、
今まで以上に平和な世界の実現を目指す



e-Spire：人工知能を活用した、TOEFL構造に沿って設計されたオンライン英語教材プラットフォーム



GROWが解析した他者評価のソーシャル分布

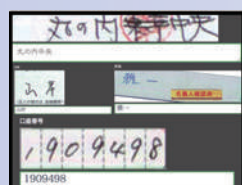


GROWが解明した内定者と応募者のコンピテンシーの違い

- Q1** 日本企業の人材の共創・競争力が世界で著しく減少している原因が、科学的でない教育・人事領域にあることに気づく。世界最大の投資企業でクウォンツアナリストと経営を担った経験と研究人脈(東京大学との共同研究)が起点となっている
- Q2** 機械学習や自然言語処理の技術者を抱えとともに、日本最先端のグローバル教育を行う、教育と人事双方の領域にまたがる世界でも数少ないHR/EdTech企業である点
- Q3** 法人営業の戦略に関するアドバイス、政府・企業・大学とのネットワーク提供、ファイナンス支援まで、幅広い経営支援をいただけるパートナー

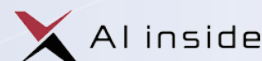


デジタル変革を推進する DX Suite



高精度な
手書き文字認識

AI inside 株式会社



AIを誰もが使えるようにし、世界の潜在能力を引き出すことで、より良い社会を実現

- Q1** 生産年齢人口が減少する日本においてAIで貢献できることとして、全ての業種で行われている文字や画像のデータ化の生産性向上に行き当たる
- Q2** 画像処理/DNNによるOCRエンジン用教師データを無限に生成できる独自の仕組みを開発、Google Visionを凌駕する業界No.1の読み取り精度を実現。レイアウト認識から自然言語処理まで全てをAIで行い、フリーフォーマットや乱筆文字、デザインフォントに対しても高い精度で読み取りが可能
- Q3** 人材・新技術獲得支援、事業・製品戦略のブラッシュアップ

質問内容

Q1

起業の発端

Q2

何が強みか
(競争優位性)

Q3

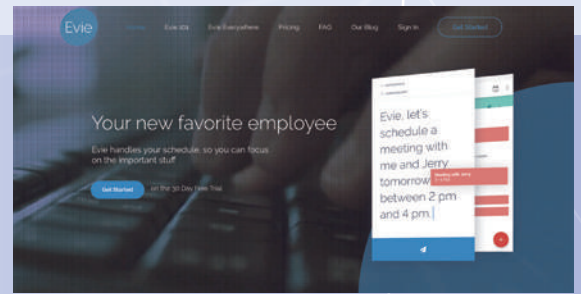
UTECのパリキュアアップ
(貢献)

Evie.ai (Forty Two Labs Private Ltd.)

人工知能アシスタント『Evie』によるスケジュール調整等の
業務支援サービスの展開

Evie

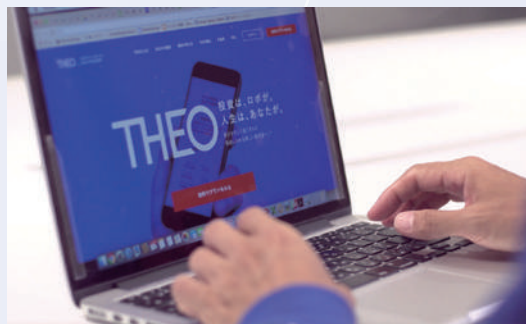
- Q1** 人工知能を活用した業務支援サービス『Evie』を実現するため、Stanford 大学を卒業後、Yahoo 等に勤務していた Jin Hian Lee により 2014 年 5 月にシンガポールで設立
- Q2** 当社の AI アシスタント『Evie』は、スケジュール調整に留まらず、人工知能を駆使した多様なアシスタント業務への拡張性を有する点、及び企業レベルの品質を実現している点
- Q3** 『Evie』のグローバルな事業展開の支援や、東京大学等を含む世界の人工知能研究者を巻き込んだ技術基盤の強化の支援



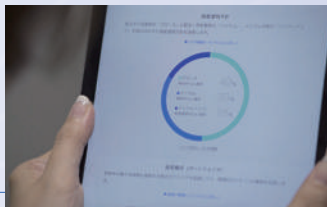
Evie.AI



Team Evie



THEO サービスストップ画面



一人ひとりにあった
資産運用プランを提案。
その数は231通り。

株式会社お金のデザイン

テクノロジーの力で金融サービスを民主化し、
人とお金の新しい関係を創る



お金のデザイン

- Q1** 円安・インフレ・超低金利などの市場環境の変化によって、円で資産を持つておくことが必ずしも最適な資産保全方法とは言えない時代に日本が突入しているなか、京都大学加藤康之教授と共同開発した投資運用エンジンを活用して適切なアルゴリズムを提供することで、一般個人に対し、プロのアセットマネージャーが富裕層向けに提供しているものと同等の高度なアルゴリズムによるグローバル分散投資を行うことを可能にしたいと考えたため
- Q2** アカデミアと投資運用実務の双方に根差した運用チーム、金融規制業種における経験を有する金融チーム、良質な顧客体験を追求するインターネット業界出身者の組み合わせ
- Q3** 投資運用の正統性・信用力の補完と強化。適切な経営上のアドバイス

株式会社 CambrianRobotics

CAMBRIAN
ROBOTICS

Make Everything Online

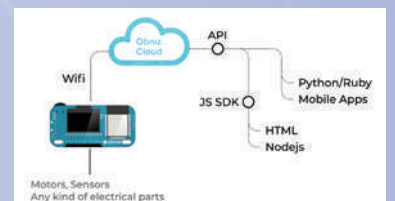
- Q1** 従来までのマイコンボードを用いたIoTでは、開発環境の構築や特殊な開発言語、ソフトウェアだけでなくハードウェアの知識も必要となる等様々なハードルが存在した。誰もが自由にIoT電子工作を可能な世界を実現すべく obniz を開発した。
- Q2** あらゆる実装・開発をクラウド経由で行うように特化し、開発工数の削減、対応開発言語の増加、それに伴う使用可能ライブラリの増加、複雑な処理の実現等が挙げられる。
- Q3** 販売営業戦略に関するアドバイス、人材採用支援、法人顧客のご紹介、法務関係の支援等幅広い支援を頂けるパートナー。



obniz とそのプログラム画面



obniz を接続し自動運転化したラジコンカー



システム図



SaaS型 WMS



配送管理プラットフォーム

シーオス株式会社

SEAOS

ロジスティクス領域で、人間とAI/ ロボットが協働する社会を実現

- Q1 外資系コンサルティング時代にロジスティクスのグローバル・タスクフォースでのプロジェクト経験とベンチャー・インキュベーション事業に携わり、幼少のころからの起業家への夢がタイミングとして一致。ロジスティクスの分析・設計に絶大な自信があったこと
- Q2 医療、小売、製造等、多業界の物流マネジメントを、戦略レイヤーから現場受託まで手がけることで物流IT化の機能要件が肌で分かっており、どのような技術が問題を解決し市場に広く活用されるか判断ができること
- Q3 国内外の産学技術連携などによる技術開発のスピードアップと迅速なグローバル事業展開

株式会社自律制御システム研究所 (ACSL)

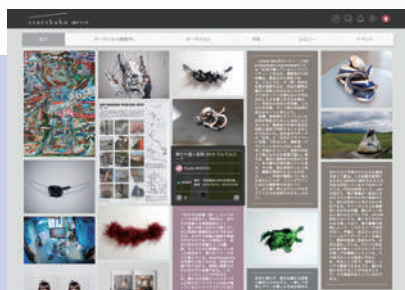
ドローンを活用した無人化システムによる「空の産業革命」

ACSL

- Q1 千葉大学の野波健蔵特別教授の研究室で1998年から培われてきた完全自律型ドローン技術を応用し、日本の新しい空の産業を創出する為に起業
- Q2 ドローンの頭脳である「オートパイロット」と産業用ドローン・プラットフォームを軸に、各分野のパートナー企業様と連携を進め、各種用途向けの産業用ドローン・ソリューションを構築
- Q3 研究室から生まれた大学発ベンチャーが、グローバルなイノベーションを創出する企業へと成長するための、プロ経営者招聘を含めた経営支援、グローバル目線での事業戦略や事業開発支援、国内外の大学や企業との技術連携の支援



完全国産の産業用プラットフォーム機体



独自サービス startbahn.org



主催の展覧会風景
(パープルーム展)

ウェブデザインの一例
(東大川原研究室)



スタートバーン株式会社

startbahn

アートが民主化され、文化のみならず財としても身近で重要な意味を持つ社会の実現

- Q1 現代美術家であり、東大大学院学際情報学府出身の代表の施井が、社会変化のダイナミズムに反し、インフラ整備が遅れてる業界の現状を危惧し、テクノロジーとアートの架け橋となるべく起業
- Q2 日米で関連特許を取得していることや、ターゲット層にアプローチしているプレイヤーが少ないこともさることながら、業界事情をよく知り、能動的な更新を提案出来る立場にいること
- Q3 今後コミットしていくブロックチェーンは未だ世界的にも法律や信用基盤が整っていない技術であるため、世界的な信用を獲得する意味で何より心強い存在

株式会社 Zenmu Tech

ZENMU
TECH

秘密分散技術で高セキュリティ社会に貢献し、
次世代のインフラストラクチャを提供

- Q1** エンドユーザの為に、利便性・生産性を犠牲にせず、「安心」「安全」なICT環境の実現を目指し、2014年に起業。セキュリティフリーの社会を実現するために、秘密分散技術を製品化
- Q2** 東京大学・東京理科大学・東京電機大学などとの産学連携による共同研究、秘密分散技術に精通した技術陣、これまでのIT業界のネットワークを活用したハイタッチ営業による市場への浸透が可能
- Q3** 経営戦略策定、ファイナンス、リクルーティング、東京大学をはじめとする学術ネットワーク、IPOに向けた管理体制のサポート



LIXIL モバイルPCのデータ保護にZENMU for PCを採用

株式会社ティアフォー

Tier IV
Intelligent Vehicle

完全自動運転のプラットフォーム及びサービス事業による高付加価値な移動時空間の創出



Logiee_PV1



Milee_PV2



Minivan_PV3

- Q1** 名古屋大学等で開発されたオープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware」を使った完全自動運転システム開発の為に、加藤真平准教授（当時名古屋大学、現東京大学情報理工学系研究科准教授）を中心に2015年12月に創業
- Q2** 「Autoware」を軸に、完全自動運転のプラットフォーム事業と、完全自動運転によって解放される時間と空間を活用したサービス事業を展開。2017年12月に日本で初めて一般公道におけるレベル4（無人運転）の自動運転に成功
- Q3** 経営人材の紹介、経営への参画、グローバル展開

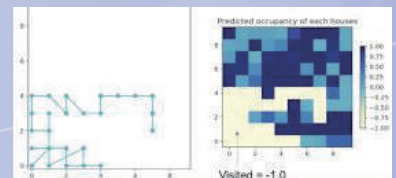
株式会社日本データサイエンス研究所

JDSC
Japan data science Consortium

データやAI活用の推進で産業の労働生産を高め、ひいては日本全体の生産性を高める

- Q1** P&Gやマッキンゼーで、データ活用が企業プロセスを根本的に変え、社会構造を変えうものと実感したことから2014年に社団法人を設立。業績拡大に伴い株式会社化
- Q2** 東京大学の越塚研究室（情報学環、IoT・データ活用）、田中研究室（システム創生、AI・ブロックチェーン）などのアカデミアの知見と、ビジネス側の実務の連携を行えるメンバー。大学院生のエンジニアメンバーも多数在籍
- Q3** 戦略からオペレーションに至るビジネスモデル実現支援、企業の全社的な改革・デジタル化への意思決定と舵取りを行える経営層へのアクセス、上場に向けたファイナンス面でのサポート全般

図面情報の画像読み取りと加工の自動化



宅配で不在配達先を予測してルートを最適化



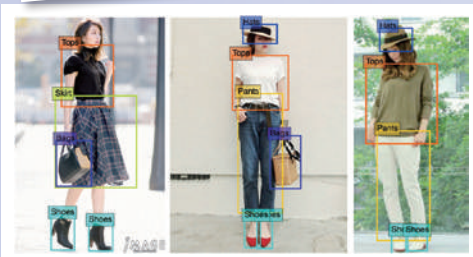
ファッションポケット株式会社

FASHION POCKET

消費者のライフスタイルの革新、過剰在庫や在庫廃棄といった社会問題の解決

- Q1** 2018年、AIで人々の暮らしを豊かにする志をもつ、経営コンサルタントにより創業。AIの実用化が各種産業で進む中、日本発のグローバルAIカンパニーを立ち上げ、これまでAI未踏の地であったアパレル業界において、消費者や産業への貢献のため
- Q2** 独自開発をした画像・映像AI技術とAI技術力。AIを用いたファッション・コーデの解析技術を活用したファッションのトレンド予測、アパレルのEコマースやカスタムオーダー、アパレル企業の需要予測やMD最適化、無人・省人店舗ソリューションなどのサービスを提供
- Q3** 技術を強みとするスタートアップの競争優位性の明確化や、グローバル展開についてのサポート。また、これまで多くの事業に投資した経験に基づく、スタートアップの成長についてのアドバイザー

ファッショントレンド
解析サービス



画像・映像のAI解析技術

株式会社 Finatext

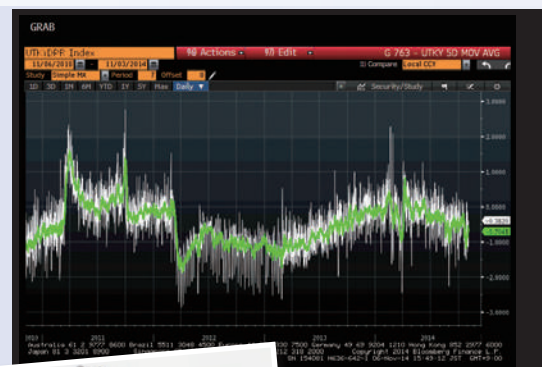
FINATEXT

NOWCAST

SMART+

「経済の“今”を知る」ことが出来る世界の実現

- Q1** 金融機関向けのサービス実績や、東京大学渡辺努教授の研究成果を活用し、これまでにないリアルタイム性の高い情報を、ビッグデータを用いて開発・提供することを目指して起業
- Q2** 金融に関する豊富な知識・経験を基盤に、誰にでも分かりやすいUI/UXに落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力。総務省や日銀出身者、我が国を代表する統計学・経済学の研究開発陣によるビッグデータを活用した経済統計開発技術
- Q3** 経営レベル、現場レベル全般的ハンズオン支援



日経CPI Now



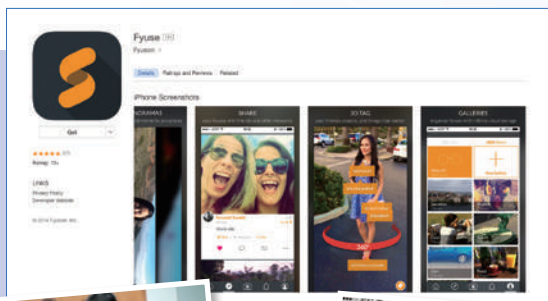
代表取締役社長の林良太(左)
と共同創業者の渡辺努(右)

Fyusion, Inc.

F U S I O N

写真の歴史を変える空間写真アプリ「Fyuse」を展開、現実世界を3Dデータ化

- Q1** 米国Willow Garage社のロボット研究者らによる起業。投資先のMUJIN社と東京大学岡田慧准教授を通じて、Fyusion社創業者と接点を持ち、起業の相談を受けて、事業構想にUTECも協力
- Q2** オープンソースの3D点群ライブラリ(PCL)の設立者としても著名な研究者による起業。ロボット研究からの高度な3D画像処理技術、センサー・フュージョン技術、人工知能技術を駆使
- Q3** UTECは、創業期からの事業構想に関与しシリーズAをリード。共同投資家の米国最大手VCのNEAと連携したグローバルな事業開発の支援・リクルーティングサポート



セルフィーの空間撮影と再生画面

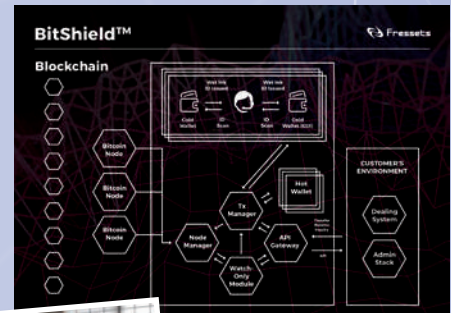
米国AppStore
写真/ビデオ・カテゴリー4位に!

フレセッツ株式会社

仮想通貨やブロックチェーン関連の技術を
安全かつ便利に使うことの出来る社会の実現



- Q1** 2014年前後のbitcoin黎明期から数々の仮想通貨関連の開発経験を有している日向理彦氏らが、現在の仮想通貨取引所のウォレットシステムの脆弱性を解決するとともに、仮想通貨・ブロックチェーン関係の更なる先駆的な製品開発を目指して起業
- Q2** 多様な仮想通貨向けに仮想通貨ウォレットシステムを開発する能力に加え、技術力の高いエンジニアが集結しており、今後とも仮想通貨・ブロックチェーン分野で次々と革新的な製品・サービス群を開発するポテンシャルがある
- Q3** 技術者や幹部人材の採用支援、大学との連携、顧客候補企業紹介



EWMのイメージ

世界有数の
ブロックチェーン
エンジニアメンバー

株式会社 MUJIN



世界初の知能ロボットコントローラメーカー。ロボットを知能化させる事でロボット市場拡大を牽引

- Q1** カーネギーメロンで博士号取得し、東京大学JSKでボスドク経験もあるCTOのロセン博士が世界で初めてロボット動作計画技術を産業用に展開。滝野に出会った事から莫大な需要がある産業用ロボットの知能ロボットコントローラ開発に舵を切ったのが起業のきっかけ
- Q2** オープンソースのロボット動作計画ソフト (OpenRAVAE) の創始者としても著名なロセン博士と製造現場に精通する滝野による起業。世界トップレベルのロボット動作計画技術と高度な並列分散処理、そして3D認識技術を高度に組み合わせた知能ロボットコントローラを開発・販売。主に自動車や物流業界の生産現場で、過去に前例がないロボットによる自動化を手掛け、労働力不足問題の解決や生産性の向上に寄与している
- Q3** ファイナンス面のバックアップだけでなく、会社運営からリスク管理に至るまでハンズオンで取り組んでくれる貴重なパートナー

世界から集まった
メンバー

フロント

株式会社 Liquid



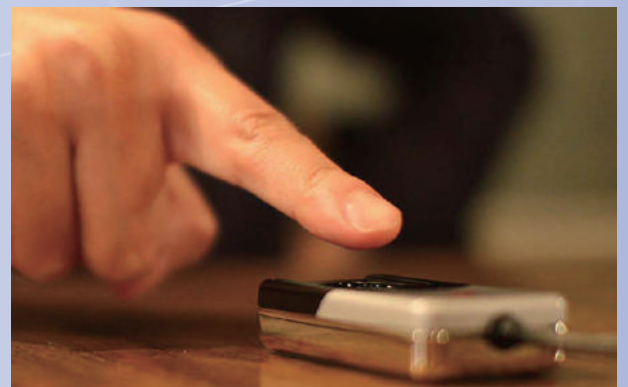
本人確認を本人情報で行うという当たり前の社会の実現

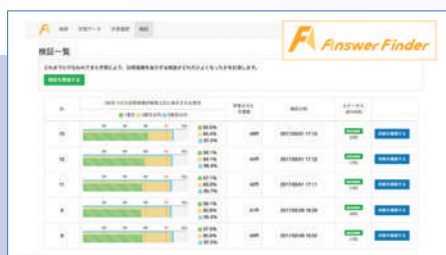
LIQUID

- Q1** 慶應義塾大学法学部を卒業し、統計数理を専門とする久田康弘が、法医学の統計学による鑑定技術とコンピュータービジョニングにより技術開発に着手。現在、慶應義塾大学の青木研究室と共同研究を実施している
- Q2** 大規模ユーザー下における高速生体認証技術により、従来、1ユーザー突合するのに、0.05~0.1秒かかっていた時間を、0.0003秒にまで短縮。一般普及できる指紋決済サービス「Liquid Pay」を展開
- Q3** リクルーティングのサポート、事業計画の立案サポートに加えて、セールスサポート、ファイナンス面のリード、政府機関へのご提言や大手企業へのご紹介

3本指の指紋を
登録することで
本人認証を実現する
LIQUID独自の端末

サービスの利用イメージ





Answer Finder 精度評価画面



VoC Analyzer 分析画面

株式会社レトリバ



レトリバ

最先端のAI技術で、
人の業務を支援するソフトウェアを作りたい

- Q1** AI技術の自然言語処理や機械学習、深層学習に大きな可能性を感じ、株式会社 Preferred Infrastructure から事業譲渡を受けて独立。同社で製造事業部長を務めた河原氏、同社出身で東京大学情報理工学修士の西鳥羽氏、他4名で創業
- Q2** 自然言語処理や機械学習、深層学習への深い知識やノウハウを活かし、お客様の課題を解決するために最適な手法をより使いやすく製品にしている点
- Q3** 経営戦略策定サポート、リクルーティング、今後の資金調達支援、顧客等のご紹介及びパートナー先の開拓に期待

Locix Inc.



革命的な無線センサー製品とサービスを開発し、
スマート・ホーム及び商用アプリケーション向けに展開する

- Q1** スマート・ホーム及び商用向けの究極の無線センサー製品とサービスを実現すべく、シリアル・テクノロジー起業家の Vik Pavate と、革命的な無線センサー技術を持つ米カリフォルニア大学バークレー校の Vivek Subramanian 教授、Elad Alon 准教授によって設立
- Q2** 超低消費電力技術、無線技術、高度なセンサー技術、電力伝送技術、データ・サイエンスを駆使した独自のプラットフォーム技術により、ハイパフォーマンスで設置場所の自由度の高い無線センサー製品を低コストで提供することが可能となる
- Q3** UTECは創業期より関与し、シリーズAをリード。事業戦略面で特に支援を受けており、システムインテグレーターやOEM先等、主要なパートナー探しにUTECのネットワークを活用したい



LOCIX Wireless Camera Product



未電化地域に電気と
明かりを届けます

連携する小売店
(キオスク)の様子



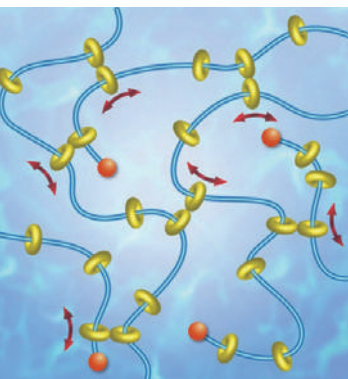
WASSHA 株式会社



Power to the People: 途上国に「電気のある暮らし」を届ける

- Q1** 先進的な電力制御技術である「デジタルグリッド」を社会実装するため、あえて規制の少ないアフリカ地域を選定、発明者である阿部力也東京大学特任教授とCEO 秋田の2名によって2013年4月に共同創業
- Q2** アフリカの地方部に点在するキオスク(小規模店舗)と連携し、百万人規模の消費者カバレッジと消費動向の詳細なデータを保有。また、経営陣はアフリカ・タンザニアに在住。現地メンバーと密接に連携したオペレーション、事業の実行力が強み
- Q3** リードインベスターとして、経営へアドバイス頂き、必要に応じてパートナー紹介等も受けている。今後の資金調達の支援も期待

MEMO



SRMの構造:
分子の滑車で架橋点が動く

応用例:
自動研磨装置用
メディア



アドバンスト・ソフトマテリアルズ株式会社



超分子ネットワーク構造で、高分子材料をしなやかにタフに

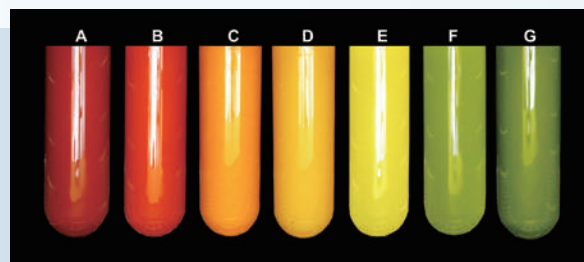
- Q1** 東京大学伊藤耕三研究室で発明された「スライドリングマテリアル(SRM)」が高分子の世界を変え得る基本技術で、広範な用途で実用化できる可能性があり、顧客となりうる多くの企業が高い関心を持っていたため、企業に至った
- Q2** 世界初の環動構造を持つスライドリングマテリアルの世界唯一のメーカー。東京大学の基本特許の専用実施権も保有する、知財立脚企業。多くの高分子材料でトレードオフとなる特性の両立が実現可能となる
- Q3** 当社設立準備の段階から事業計画策定等で大きく関与頂き、設立後もリードインベスターとして、資金面のみならず、経営においてもご指導いただいている

株式会社アルガルバイオ

植物と藻類が地球を救う

Algal Bio

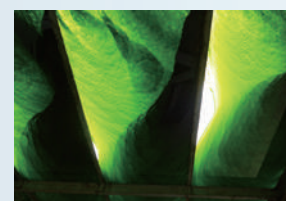
- Q1** 東京大学河野重行名誉教授の20年以上の藻類バイオ研究
- Q2** 藻類株の生成や藻類の培養・機能性成分の誘導における様々な知財を基に、数千種類の藻類株を保有
- Q3** 研究段階から事業化支援を受けている。創業、これからの事業規模化フェーズでも引き続きリードインベスターとして広範な経営アドバイスを期待



様々な機能性成分が育成されたクロレラ。
色はカロテノイド種や長鎖脂肪酸種に対応



通常の藻体(左)と超オイル藻体(右)



薄層光バイオリアクターでの大量培養



UTECからの投資で開発したプロトタイプ

エクセルギー・パワー・システムズ株式会社

次世代蓄エネシステムで、エネルギーに関する経済合理性、環境問題、安全・安心を同時に解決！



Exergy Power Systems

- Q1** 東京大学エネルギー工学連携研究センター長を務めた堤敦司教授(生産技術研究所)、東京大学卒業生、UTECによる共同創業
- Q2** 少容量(kWh)の蓄電池から大出力(MW)を得られる水素蓄電池に関する独自技術と、積極的に海外で新市場を開拓する実行力
- Q3** エクセルギーは燃焼による損失を除くエネルギーである。燃焼中心の生存基盤から、燃焼を行わないエネルギー変換を多用することで、エネルギーに関する経済合理性、環境問題、安全・安心を同時に解決するためにUTECとともに起業した。投資回収期間が長期にわたる当社をUTECは知恵を絞って経営指導し続け、本来目的の社会貢献と企業の成功が射程に入ってきた

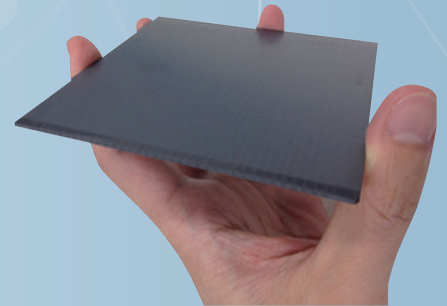
FCO Power 株式会社

低コスト・省スペースの次世代SOFCで、
エネルギー資源の効率的な活用に貢献



FCO POWER

- Q1** 前身のFCO (株)が、(一財)ファインセラミックスセンター(JFCC)との共同研究により基盤を築いた技術を引き継ぎ、FCO Power (株)として第二創業
- Q2** SOFCスタックの「低コスト化」と「高体積出力密度化」を実現する知的財産(特許及びトレードシークレット)と技術開発力
- Q3** 製品コンセプトしか存在しない、ハイリスクのシード段階からの長期的なご支援。具体的には、出資のみならず、組織開発、事業計画立案、提携先企業との交渉、技術アドバイザーの紹介等、多岐にわたる領域におけるハンズオンでのご支援



Printed Fuel Cell®の外観



バイオ燃料や
グリーン化学品を作るコリネ菌



間伐材や茎・葉など
非可食バイオマスが原料



世界展開のための
開発拠点 "Green Earth 研究所"

Green Earth Institute 株式会社



Green Earth
Institute

世界が抱える「エネルギー」「食糧」「地球環境」という課題を
コリネ菌で解決したい

- Q1** 地球環境産業技術研究機構(RITE)のコリネ菌という微生物を使った革新的バイオリファイナリー技術の実用化のため、日本初の“公益財団法人発ベンチャー”として創業
- Q2** 従来の発酵は、食糧と競合するバイオマスを使ってきたが、GEIは、茎や葉、木など非可食バイオマスを原料に、低コストで、バイオ燃料やグリーン化学品を製造可能。さらに、これまでの事業活動で培った国内外の幅広いネットワークを活かして、バイオリファイナリー産業の新しいプラットフォームを構築
- Q3** UTECには会社設立準備から全面的にサポートしていただき、設立後もハンズオンでの支援を続けてもらっている

908 Devices Inc



Creating elegant analytical 'tools' from mass spectrometry

- Q1** ノースカロライナ大学 Michael Ramsey 教授(東京大学グローバルCOEプログラム 機械システム・イノベーション国際拠点 招聘講師)が発明した高圧力質量分析法を活用した革新的な化学分析ツールを提供するために起業
- Q2** 小型携帯質量分析計の開発・製造・販売に成功した世界唯一の会社。「小型」「携帯」がもたらす新しい分析手法・用途・顧客価値を発案・提供できるチーム力
- Q3** 日本及びアジアの市場開拓・パートナー開拓支援を期待



M908: 世界初小型携帯質量分析計



当社BMSを搭載したEVのテスト

2014北京
モーターショーに出展



NExT-e Solutions 株式会社



世界最大の中国自動車市場においてEVのコアモジュールを供給！

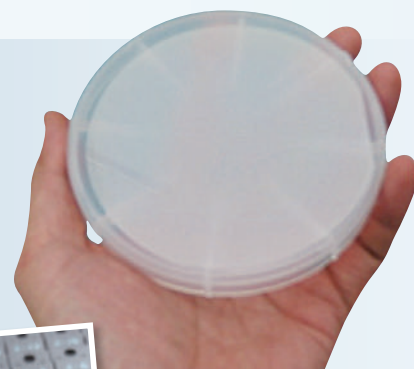
- Q1** UTECのインキュベーションプログラムUTEC EIRを通じて、事業戦略を立案し、NEDO助成金を基にプロトタイプを開発。その後、UTECからの創業投資によりチームビルディング
- Q2** 電池(化学)、回路(電気)、自動車(機械)という幅広い技術領域の実務経験と知見を持ち独自技術を開発する日本人技術陣と、東京大学等への留学経験と日系企業勤務経験を持つ中国人営業陣のチームワーク
- Q3** UTECは創業時からのパートナーであり、取締役としても経営参画。最初のプロトタイプはUTECの出資金と補助金で開発。様々な困難に直面する中、創業時から全くぶれず、事業戦略をブラッシュアップできたのはUTECの指導の賜

株式会社 FLOSFIA

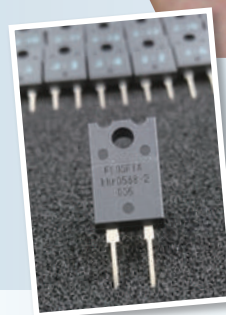


新規パワー半導体「コランダム構造酸化ガリウム(α -Ga₂O₃)」を通じて
省エネ革命を実現！

- Q1** 創業メンバーの一人が京都大学藤田静雄研究室発の「新技術」を使って新しいコランダム結晶材料を発見。事業化の為に京大メンバーが集結
- Q2** 京大発のミストCVD法と、当該技術を用いて作製するコランダム型酸化ガリウム系半導体技術に強み。ミストCVD法は非真空成膜技術で高機能・高品質な金属酸化膜を安価に作る画期的技術。酸化ガリウムはパワーデバイスとして圧倒的な材料ポテンシャルを持つ材料で、世界に先駆け開発を推進
- Q3** 日々直面する研究開発・人員体制・資本政策等のさまざまな課題に対し、豊富な成功体験を有し他社事例を知るキャピタリストが助言し、行動することで事業推進を加速



直径4インチの
酸化ガリウム結晶製造法を確立



α -Ga₂O₃を用いた
SBD製品開発に成功



自社農場で(小池社長)

水田センサ
「Paddy Watch」



ベジタリア株式会社



最新の植物科学とテクノロジーを駆使し持続可能な環境と健康社会を実現する

- Q1** 東京大学EMP修了後に就農。東京大学EMP関係者(講師陣、修了生)および各界有識者とともに食・農・健康・環境について議論を進め、各大学、政府系研究機関、各企業の技術・研究成果を融合
- Q2** 東京大学を中心とした各大学、政府系研究機関、各企業の技術・研究成果へのアクセスとイノベーション創造力。上場企業のCEO、CFO経験者、弁護士、税理士、経験豊富なマーケティング、技術陣などによるマネジメントチーム
- Q3** 大学発のシーズの紹介、政府へのアクセス、事業計画、販売などへの支援を期待

マイクロ波化学株式会社



マイクロ波プロセスで世界のエネルギー・化学産業を変革する

- Q1** 大阪大学塚原保徳教授の研究成果を活用し、「日本発の革新的技術を世界に広めたい」「新しいテクノロジーベンチャーを日本に起こしたい」「環境に貢献する事業を始めたい」という想いを実現しようと、起業した
- Q2** マイクロ波プロセスを用いたもの作りを可能とするプラットフォーム技術、その技術を開発した化学・物理学の研究者・エンジニアを含む多様な専門家からなるチーム
- Q3** パイロット設備建設の為に資金を提供。ほとんどのベンチャーキャピタルや金融機関が「ベンチャー企業が工場を単独で建設するなんて無理」と相手にしてくれない中、私達の技術力と将来性を評価していただき、世界初のマイクロ波化学工場を建設できた



**Make Wave,
Make World.**
世界が知らない世界をつくれ

世界初の
大型マイクロ波化学工場
(化学品の生産能力は年3200t)

株式会社ルートレック・ネットワークス



「農業に休日をも！」限られた地球資源で農業の生産性を高め、農業に休日をもたらす持続型社会

- Q1** 日本・世界の農業はICT利用で効率化・自動化できる。明治大学小沢聖教授の作物栽培学研究の成果をベースに、水・肥料使用量と営農の手間を格段に減らしかつ収量を増加させるAIを搭載した農業機械のプロトタイプができたことが第二創業のきっかけ
- Q2** M2M製品を開発・販売していた確かな技術力をベースとし、また農学の知識を明治大学から得て共同開発することで、農業という現場に対し信頼できる製品を開発し販売できる。海外プレーヤーとの提携による対象市場の広さも強み
- Q3** 第二創業期における事業のかじ取り、海外事業でのノウハウの提供、IPOに向けての経営チーム補強や管理体制構築の助言等を期待している

灌水・施肥の
自動化ロボットは
約1年で
投資回収が可能



新規就農家で2倍、
熟練農家でも2-3割の
収量向上の実績

UTEC
Portfolio
Companies

Deep30 投資事業有限責任組合

30

深層学習の無限の可能性で、共に未来をアップデートする

深層学習の無限の可能性で、 共に未来をアップデートする

Deep30は深層学習が持つ、様々な領域に革新をもたらすことのできる可能性を信じ、基礎研究・応用研究とリアルな産業との橋渡しとなるベンチャーキャピタルです。

- Q1** 深層学習などのAI技術はハードウェアとの連携が重要となってきたことから、既存のインターネット事業よりリスクをとった初期投資が必要となる。そのため、深層学習などのAI技術の実現可能性を見極められる投資主体の必要性を感じた
- Q2** 産学連携の橋渡しをしながら、社会実装のための技術的助言、バックオフィス支援などを行い、AI分野の研究開発、エンジニア育成、バリューアップまでの一貫したサポート体制を構築
- Q3** VCファンド設立・運営に必要なビジネス・法務・財務等の各種知見の指導、投資先への企業紹介やフォロー投資

Blume Ventures – Fund III

BLUME
VENTURES

インドにおいてTech/Earlyにフォーカスした最もアクティブなファンド

- Q1** Karthik Reddy と Sanjay Nath によって2010年に設立。2011年に初めてのファンドとして\$20MillionのFund Iを設立。その後2015年にはFund IIとして\$60Millionのファンド、2018年にFund IIIとして\$80Millionを設立した
- Q2** BlumeはインドにおいてDeep TechにフォーカスしたVCのパイオニアであり、既にインドのDeep Tech分野のスタートアップであるGreyOrange、Tricog、Locus、Stellapps、Carbon Clean Solutions等多数の投資実績がある。また、Exit実績としてもOlcabsに買収されたTaxiforsure、Twitterに買収されたZipdial、Nutanixに買収されたMinjar等多数
- Q3** UTECは日本で最大のLPであり、BUDHA (Blume UTEC Deep-tech Accelerator)イニシアチブを共同で実施。BUDHAにおいては、Deep Science/Technologyを武器にグローバルマーケットに挑戦するインドのスタートアップを支援



Blume Numbers

UTEC
Portfolio
Companies

MEMO

アラムナイ

国内外の第一線で活躍される UTEC アラムナイ（卒業生）の方々

GLM



2017年9月、香港上場 O Luxe Holdings と資本提携

GLM 株式会社 代表取締役社長

小間 裕康 氏 Hiroyasu Koma

2000年株式会社コマエンタープライズ設立、国内外の家電メーカーへのビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開し、年商20億円に成長させる。2010年京都大学の『京都電気自動車プロジェクト』を母体として現 GLM 株式会社設立（旧社名グリーンロードモータース）。2014年ベンチャーとして初の量産 EV スポーツカーの国内認証を取得、2015年「トミーカイラZZ」の量産を開始。2016年次世代車両「GLM G4」発表。2017年9月香港上場企業の O Luxe Holdings と資本提携し、欧州・中東・中国へのグローバル展開を目指す。

トミーカイラZZ



popIn



2015年5月、バイドゥ株式会社が M&A

popIn 株式会社 代表取締役社長

程 涛 氏 Tao Cheng

東京工業大学卒業後、東京大学情報理工学研究所の修士課程での発明をビジネス化するため、2008年、修士在学中に popIn を起業。新たな記事コンテンツの評価指標「READ」を2014年にリリース、レコメンドサービスと共に日本、韓国と台湾の500以上の大手メディアサイトに採用される。2015年5月中国最大の検索エンジンを運営する百度（バイドゥ）と経営統合。現在、子育て家庭向けのシーリング IoT「popIn Aladdin」に注力し、ホームレコメンド事業を展開。

popIn Aladdin

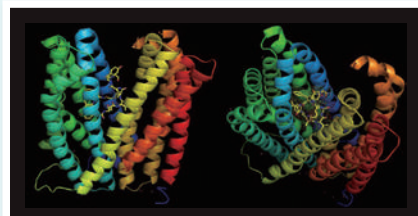



PeptiDream
2013年6月、東証マザーズにて IPO
2015年12月、東証一部に上場

ペプチドリーム株式会社 代表取締役会長

窪田 規一 氏 Kiichi Kubota

日産自動車株式会社、現株式会社エスアールエル、株式会社ジェー・ジー・エス代表取締役社長を経て、2006年、東京大学菅裕明教授の Flexizyme 技術をコアとするペプチドリーム株式会社を設立、代表取締役社長就任、2017年より現任。同社独自の創薬開発プラットフォームシステムにより、多様性が極めて高い特殊環状ペプチドを多数合成し高速で評価することで、重要なヒット化合物の創製やリード化合物の選択等を簡便に行うことができる。2013年東証マザーズにて IPO、2015年東証一部に上場。第2回「日本ベンチャー大賞」受賞。

特殊ペプチドと
ターゲットとの結合

2011年7月、東証マザーズにてIPO

株式会社モルフォ 代表取締役社長

平賀 督基 氏 Masaki Hiraga

1997年に東京大学理学部情報科学科を卒業。2002年、東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻(博士課程)修了。2004年、画像処理技術の研究開発や製品開発を行う株式会社モルフォを設立、代表取締役就任。コンピューターサイエンスは実学であるという信念に基づき、最先端の研究をただ理論で終わらせるのではなく、社会のニーズに適應させ活かすことを志向し創業。現在はグローバルスマートフォンメーカーに各種画像処理ソフトを提供、車載や監視カメラ、ネットワークサービスへの展開を推進。2011年7月、東京証券取引所マザーズ市場に上場。

手ブレ補正技術



2010年8月、ヤフー株式会社がM&A

ヤフー株式会社 常務執行役員 メディアカンパニー長
元 株式会社シリウステクノロジーズ 代表取締役社長

宮澤 弦 氏 Gen Miyazawa

2004年東京大学卒業直後に株式会社シリウステクノロジーズを創業、代表取締役に就任。2005年にUTECHから出資を受け、モバイルSEO事業や位置情報に連動したモバイル向け広告配信事業を手がける。2010年8月、ヤフーにより買収。その後、ヤフーにてインタレストマッチプロジェクト(現YDN)のプロジェクトリーダー、2013年4月より執行役員(最年少)・検索サービスカンパニー長を務める。2015年4月にメディアカンパニー長就任を経て、2016年4月より現職。



広告主が設定したエリアの近くにいるユーザーに広告が表示される仕組み



2011年9月、株式会社ミクシィがM&A

シニフィアン株式会社 共同代表

元 ネイキッドテクノロジー株式会社 代表取締役社長

朝倉 祐介 氏 Yusuke Asakura

兵庫県西宮市出身。競馬騎手養成学校、競走馬の育成業務を経て東京大学法学部を卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーに入社。東京大学在学中に設立したネイキッドテクノロジーに復帰、代表に就任。ミクシィ



社への売却に伴い同社に入社後、代表取締役社長兼CEOに就任。業績の回復を機に退任後、スタンフォード大学客員研究員等を経て、政策研究大学院大学客員研究員。ラクスル株式会社社外取締役。株式会社セブテーニ・ホールディングス社外取締役。Tokyo Founders Fund パートナー。

創立時



Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

Partner

Tommy
Goji



郷治 友孝

代表取締役社長
マネージングパートナー

ファンド運営及びベンチャー投資全般の統括

- 2004年4月UTEC共同創業以来、東大発をはじめとする大学発ベンチャーのシード/アーリーからの投資育成戦略の立案を行い、UTEC1号から4号までの投資事業有限責任組合(計540億円強)のベンチャーキャピタルファンドを設立・運営。数々の投資先の役員に就任するとともに、投資運用責任者として全案件に関与し、これまでに10社がM&A、9社が上場を果たす。
- UTEC以前は、通商産業省(現経済産業省)にて『投資事業有限責任組合法』(1998年11月施行)を起草し、文化庁出向、スタンフォード大学留学、金融庁出向を経た後、『投資事業有限責任組合法』の理念を実践するため退官。

1996年4月通商産業省入省、2004年4月UTEC共同創業、経済産業省退官。東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、東京大学大学院工学系研究科博士課程在籍(技術経営戦略学専攻)。日本スタンフォード協会理事、日本ベンチャーキャピタル協会常務理事を務める。

Hideki
Tsuji



辻 秀樹

取締役

イノベーションによるエネルギー制約の克服

- 日本発の技術でグローバルにインパクトを与えるオープンイノベーション投資に注力。
- これまで、パリ協定後の再生可能エネルギー導入拡大に資するMW級大型蓄電池システムの北米・欧州展開、EV向けコアモジュールの中国・欧州展開、次世代型SOFC燃料電池の日本・欧州展開等の次世代技術の事業化を支援。
- UTEC参画以前は、インターネット・ソフトウェア関連スタートアップのCOOとして知的財産を中核にした戦略立案・事業開発を統括し、ソニー株式会社へのM&Aを実現。それ以前は、通商産業省にて、京都議定書交渉(COP3)等の環境エネルギー政策やイノベーション振興政策に従事。

東京大学法学部卒業後、通商産業省を経て、ヴィジョンアーツ株式会社にCOOとして参画。ペンシルベニア大学ロースクール修士課程・ロンドンビジネススクール修士課程修了後、2006年8月にUTEC参画。

Ted
Yamamoto



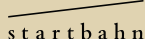
山本 哲也

取締役

IT、ロボット、グローバル戦略

- IT分野を中心とするシード/アーリーステージ投資を担当する他、グローバル戦略にも注力。
- 現在、投資先のForty Two Labs Private Ltd. (Evie.ai)、Locix Inc.、Fyusion, Inc.、(株)MUJIN等の社外取締役を兼任、(株)ティアフォーの取締役会オブザーバーを務める。
- これまでに、(株)自律制御システム研究所(ACSL)、EXIT先では(株)フィジオス(2013年2月Googleにより買収)、(株)ネイキッドテクノロジー(2011年9月(株)ミクシィにより買収)等の社外取締役を務めた。

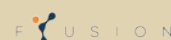
1994年三井物産株式会社入社、三井ベンチャーにて日米でのIT関連のベンチャーキャピタル投資事業に10年間従事後、依願退職。2008年7月よりUTECに参画。オックスフォード大学理学部物理科卒業(M.A. Oxon)。



FCO POWER



Exergy Power Systems



Keisuke
Ide



井出 啓介

技術を軸とした「日本発世界標準」

- キャリアをシリコンバレーでエンジニアとしてスタートし、Palo Altoの経営コンサルティング会社 The McKenna Group では要素技術の商品・サービス化とビジネスモデル構築を専門とした。
- 15年の米国滞在後、日本に帰国しベンチャー企業(半導体デザイン)の海外事業開発ディレクターを経てベンチャーキャピタル業界に入る。
- 主な案件としてはGLM(香港上場O Luxe Holdingsと資本提携)、DMP(マザーズ: 3652)、フィジ奥斯(米グーグルにM&A売却)、IID(マザーズ: 6038)がある。

エンジニア、経営戦略コンサルティング、ベンチャー企業を経てVC業界に入る。UTECとの共同投資も行ったグロービス・キャピタル・パートナーズでの投資業務後、2015年1月UTEC参画。バージニア大学工学部BS、スタンフォード大学工学部MS。

Maiko
Katadae



片田江 舞子

Life Science & Healthcare,
Medical Device

- バイオテック、およびヘルスケア分野を中心に、ライフサイエンス関連の技術デューデリジェンス及び、シード/アーリーステージのベンチャー企業への投資業務を担当。
- 特殊ペプチド創製技術を応用した創薬事業を行うペプチドリーム(株)(2013年6月東証マザーズ上場、2015年12月東証一部上場)のディールソーシングを経て、マネージメントチームの組成、事業計画構築、および事業開発に関与し、監査役を務めた。

2005年6月UTEC参画。お茶の水女子大学理学部卒、東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻修士、博士(理学)。2013年『日経ビジネス』誌が選ぶ「次代を創る100人」に選出。2014年日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー準大賞受賞。

Naonori
Kurokawa



黒川 尚徳

Physical Science & Engineering,
Life Science & Healthcare

- 物理・化学関連技術に立脚したシード・アーリーステージベンチャー企業への投資に注力。
- 東京大学関連ベンチャーのみならず、その他の国内大学関連ベンチャー企業及び海外案件も幅広く手掛ける。
- 現在投資先のマイクロ波化学(株)、(株) FLOSFIA、クオラムバイオシステムズ(株)、(株) MOLCURE、(株) PROVIGATE、immunoSCAPE PTE. LTD. の社外取締役を兼任。
- 全米のアカデミック研究成果を活用するベンチャー投資を手掛けるベンチャーキャピタル ARCH Venture Partnersを経てUTECに参画。

株式会社リコー環境技術研究所等で研究開発に従事した後、シカゴ大学留学中にARCH Venture Partnersにアナリストとして参画。2009年8月UTEC参画。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了、シカゴ大学MBA。

ROUTREK
NETWORKS

SEAOS

Algal Bio

AI inside

GlyTech, Inc.

TAGCyx
Biotechnologies

elixirgen
therapeutics

CREW

SOCIUM

PharmaBio

Microwave Chemical

FLOSFIA

MOLCURE

immunoSCAPE

CAMBRIAN
ROBOTICS

908devices

QB

PROVIGATE
sustainnovation for healthy living

NOHLA
THERAPEUTICS

Team

Partner

Atsushi
Usami



宇佐美 篤

Life Science & Healthcare, Medical,
Agriculture

- ライフサイエンス分野を中心とする
シード/アーリーステージ投資を担当。
現在、投資先の Repertoire Genesis
(株)、五稜化薬(株)、エディット
フォース(株)、(株)ミルテル、(株)
Epigeneron、BUGWORKS RESEARCH,
INC. の社外取締役等を兼任。
- JST START事業プロモーター、NEDO
TCPメンターでの事業化支援や、東
京大学ライフイノベーション・リー
ディング大学院コロキウムでの産学
連携教育セミナーの講師等を行う。
- UTEC 参画以前には、(株)三菱総合
研究所にて、ライフサイエンス及び
他分野製造業メーカーに対する新規
事業戦略立案、経営計画策定支援、
官公庁に対する産学連携支援等の
業務に従事。

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻
にて、博士号取得、薬剤師。
株式会社三菱総合研究所にてコンサルティング
業務に従事した後、2013年10月に UTEC に
参画。

Nori
Sakamoto



坂本 教晃

取締役

IT, Life Science & Healthcare,
Finance

- 経済産業省では、中小企業金融円滑
化関連法案や家電リサイクル法の法
案作成業務や未踏ソフトウェアプロ
ジェクトに従事。退官後、アパレル流
通のファミリービジネスに参画し、新
規事業立上げ及び事業整理を実施。
- McKinsey&Company では、日本・
東南アジア・欧州を中心に製薬、医
療機器、自動車、ハイテク、消費財、
金融機関等の業界各社に対し、営
業・マーケティング、SCM、M&Aに
関するプロジェクトに従事。
- 2014年度総務省 I-Challenge! や、
2015年 NEDO TCP の最優秀賞及
び優秀賞採択案件、2016年 経済
産業省 IoT Lab Selection グランプ
リ案件をサポート。アントレプレ
ナーシップ・チャレンジ2017におい
て最優秀賞をサポート。

東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。
2008年経済産業省退官、流通事業会社の
副社長を経て、コロンビア大学経営学修士
(MBA)。McKinsey&Companyのエンゲージ
メントマネージャーを経て、2014年8月に
UTEC 参画。

Associate

Yuhi
Katai

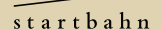
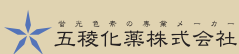


片井 雄飛

IT, Consumer

- 株式会社サイバーエージェントで
はITマッチングサービスにおける
マッチングアルゴリズムの解析・編
集やマーケティング業務に従事。
株式会社 CyberW では代表代行と
してITサービスと現実世界でのイ
ベントを融合した事業の立ち上げ
に挑戦。

東京大学法学部を卒業。株式会社サイバー
エージェントでのインターンシップや、株式
会社 CyberW の代表代行を経て、UTEC 参画。



Venture Partner

Kiran Mysore



キラン マイソール

Seed, Early stage investment in AI,
Healthcare & IT

●前職はデロイトトーマツベンチャーサポートにおいて、インドオペレーションヘッド。アジア全域において50以上のDeep Techスタートアップに対して、日本企業とのコラボレーション等をサポートしてきた。また、経済産業省によるCEATEC IoT Accelerationのサポート実績もある。自身でベンチャー企業 Kriya を共同創業した経験も有する。Stanford ASES (USA), St. Gallen Symposium (Switzerland) and Yenching Academy (China)においてGlobal Young Leaderに選出。

2016年に東京大学TMIの修士を卒業。専門はディーブルーニング。2017年にPICMETにおいて論文がパブリッシュ。2018年よりUTECにベンチャーパートナーとして参画。

Atsushi Shimada



島田 淳司

Life Science & Healthcare

●バイエル薬品経営企画本部事業開発において新規医薬品のライセンスイン、ノンコア製品のライセンスアウト、ライセンス対象の製品スクリーニング、ディール締結後のアライアンスマネジメントに従事。武田薬品工業では、知的財産部においてAmgen JapanやNycomedなどのM&A案件や多くの製品ライセンス案件のデューデリジェンスを担当。米国イリノイ州のTakeda Pharmaceuticals InternationalのGlobal Licensing and Business Developmentでは、バイオベンチャーとのライセンス案件に従事。また、国内大手特許法律事務所では、国内外のバイオベンチャー、製薬会社の知的財産業務に従事した。

2001年より国内大手特許法律事務所、2006年より武田薬品工業、2011-2014年Takeda Pharmaceuticals International 出向、2014年よりバイエル薬品に勤務。2018年よりUTECにベンチャーパートナーとして参画。大阪大学工学部卒業、IEビジネススクール修了。弁理士。

HR Manager

Hirofumi Oki



沖 大典

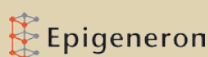
Human Resources

●UTECでは、投資先におけるHR戦略のマネジメントを担当。経営者ソーシング、組織人事設計、採用戦略、ブランディングなど投資先の人事周りをサポート。

●前職のイギリス系のヘッドハンティング企業では、ヘルスケアベンチャーのチームを立ち上げを行い、経営人材の紹介に従事。ヘルスケア領域における、ビジネスサイドから研究、工場・生産周りの人材まで幅広く提案。当ポジションのキャリアコンサルティングにも従事。

●学生時代から一貫してスタートアップ企業の採用をサポート。人材紹介、採用ブランディング、組織人事設計などを経験。

在学中からベンチャーに特化した組織・人事コンサルティングのスタートアップに就業。Web/IT業界の経営人材のヘッドハンティング、ヘルスケアベンチャーへの採用コンサルティングを経て、2018年8月にUTECにHRマネージャーとして参画。



その他役員及びシニアアドバイザー

南 直哉 Nobuya Minami

取締役会長

- 1958年東京大学法学部卒業
- 1958年、東京電力(株)入社。同社企画部長、同社取締役(企画部・広報部担任)、同社常務取締役、同社取締役副社長就任を経て、1999年同社取締役社長就任。2002～2012年同社顧問。電気事業連合会会長、一般財団法人省エネルギーセンター会長などを歴任。
- 現在、一般財団法人地球産業文化研究所理事長などを務める。2006年2月、当社取締役会長に就任。

茂木 敬司 Keiji Mogi

取締役(社外)

- 1964年上智大学外国語学部卒業、翌年ルーバン・カトリック大学修士課程ベルギー政府給費留学。
- 三井銀行(現三井住友銀行)にて、会長秘書、ニューヨーク支店副支店長、ブラッセル支店長等を経て、さくら銀行(現三井住友銀行)取締役、さくらカード(株)代表取締役副社長、ソニー生命保険(株)執行役員専務、英国Bridgepoint Capitalアドバイザー等を歴任。2007～2012年、帝京大学経済学部経済学科教授として教鞭を取る。
- 2006年より英国VenCap Internationalアドバイザーを務める。2010年6月、当社取締役(社外)に就任。

平野 正雄 Masao Hirano

取締役(社外)

- 1980年東京大学大学院工学系研究科反応化学科修士。スタンフォード大学大学院工学系経済工学修士、東京大学大学院工学博士。
- 1980年、日揮株式会社入社。1987年マッキンゼー入社、1993年マッキンゼー全社パートナー就任、1998年全社ディレクター(シニア・パートナー)、マッキンゼー日本支社長就任。2007年、カーライル日本共同代表に就任。
- 2012年より早稲田大学商学学術院(ビジネススクール)教授として教鞭をとる。日本ビジネスモデル学会会長。

高橋 浩之 Hiroyuki Takahashi

監査役(社外)

- 1985年東京大学工学部原子力工学科卒、1989年東京大学工学部原子力工学科助手、国際交流室講師、東京大学人工物工学研究センター助教授、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所併任助教授を経て、2005年より東京大学原子力国際専攻教授、2014年より東京大学工学系研究科長特別補佐、生産技術研究所研究担当、2017年より東京大学工学系研究科社会連携・産学協創推進室長、東京大学産学協創推進本部副本部長を務める。2012年より日本学術振興会産学協力研究委員会第186委員会副委員長を務める。

中本 和樹 Kazuki Nakamoto

監査役(社外)

- 1976年大阪大学理学部数学科卒業。
- 1976年、大同生命保険相互会社入社。1998年同社取締役就任、2001年同社常務取締役就任、同社取締役常務執行役員、取締役専務執行役員就任を経て、2008年同社代表取締役専務執行役員就任。2010年同社常任監査役就任、2014年同社退任。
- 現在、学校法人近畿大学資産運用委員会委員、(株)クロスポイント・アドバイザーズ顧問。

大久保 勝彦 Katsuhiko Okubo

シニアアドバイザー

- 1965年東京大学工学部電子工学科卒業。スタンフォード大学エンジニアリング・スクールPh.D.
- 1965年、古河電気工業(株)入社、1995年同社取締役就任。常務取締役就任、専務取締役就任を経て、2005年同社退社。
- 2005年、(株)大久保技術経営事務所設立、代表取締役就任(現任)。現在、(株)精工技研社外取締役、日本スタンフォード協会副会長を務める。

高井 正美 Masami Takai

シニアアドバイザー

- 1982年東京大学工学部計数工学科卒業。スタンフォード大学大学院航空宇宙工学科Ph.D.
- 1982年、三菱重工業(株)入社、マッキンゼー・アンド・カンパニー勤務後、日本AT&T(株)、エシエロン・ジャパン(株)代表取締役副社長を経て、2000年(株)サイバーヘルネス設立。
- 2003年より、(株)インヴィニオの取締役兼CSO(Chief Solution Officer)に就任。

富山 和彦 Kazuhiko Toyama

シニアアドバイザー

- 1985年東京大学法学部卒業。スタンフォード大学経営学修士(MBA)及び公共政策課程修了。
- 1985年、(株)ボストンコンサルティンググループ入社、2001年(株)コーポレートディレクション代表取締役社長就任、2003年(株)産業再生機構代表取締役専務、業務執行最高責任者就任。2007年(株)経営共創基盤設立、2009年「JAL再生タスクフォース」サブリダーに就任。
- 現在、(株)経営共創基盤代表取締役、経済産業省IoT推進ラボIoT支援委員会座長。

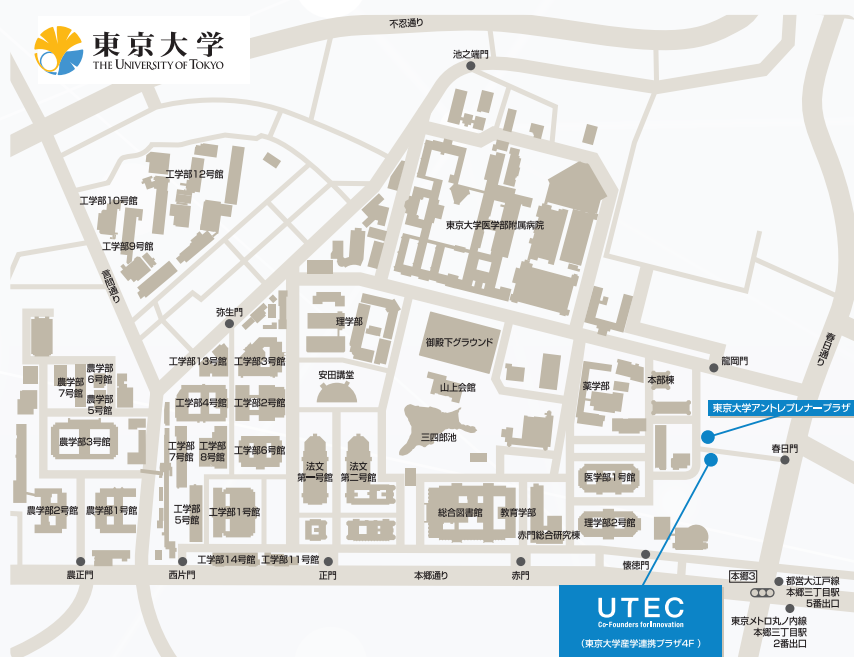
林 良造 Ryoza Hayashi

シニアアドバイザー

- 1970年京都大学法学部卒業。ハーバード大学ロー・スクール(LLM)。
- 1970年、通商産業省入省。機械情報産業局電子政策課長、資源エネルギー庁石油部長、生活産業局長、経済産業大臣官房長、経済産業政策局長等を歴任。2003年独立行政法人経済産業研究所コンサルティングフェロー就任。ハーバード大学ケネディ・スクールをはじめ国内外様々な大学の客員教授等を歴任。
- 現在、キャンングローバル戦略研究所理事・特別顧問、東京大学公共政策大学院特任教授、複数企業の社外取締役。



MEMO



UTEC

Co-Founders for Innovation
(東京大学産学連携プラザ4F)

株式会社 東京大学エッジキャピタル / 株式会社 東京大学エッジキャピタルパートナーズ

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学産学連携プラザ4F

TEL 03-5844-6671 info@ut-ec.co.jp

FAX 03-5844-6672 http://www.ut-ec.co.jp/